



# 西南学院大学博物館年報 第15号

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.15

2022







# 西南学院大学博物館年報 第15号

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.15

2022



# 巻 頭 言

西南学院大学博物館は、研究・教育の拠点として、さらには「社会に開かれた大学」を具現化するために、展示活動や本学学生の教育活動、さらには大学の枠を越えた連携活動など、精力的に取り組んでおります。

2022年度も例年と同様、特別展や企画展のほか、実習生企画展や常設展示室テーマ展示等を行っております。特別展では、2012年度以来となるキリシタン考古学をテーマにした「掘り出された祈り—考古学からみた筑前・筑後のキリシタン—」を開催いたしました。企画展では、活版印刷にまつわる印刷文化をテーマにした「印刷文化の黎明—インキュナブラからキリシタン版まで—」、キリスト教美術をわかりやすく伝えることを目指した「キリスト教美術をみとく—キリスト・聖母・聖人—」、西南学院史資料センターとの初の共同開催となる「学院史のなかの神学部—成立と歩み、そして現在—」を開催いたしました。

そのほか、過年度に引き続き、南島原市との相互の館での展示も行っております。

2022年度の活動報告として、本書を刊行いたします。今後とも、引き続き本学博物館へのご指導・ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2023年7月1日

西南学院大学博物館  
館長 片山 隆裕

# 目 次

巻頭言	3
2022年度事業報告	
1. 展示活動	
1.1 西南学院大学博物館主催の展示活動	
2022年度特別展「掘り出された祈り—考古学からみた筑前・筑後のキリシタン—」実施報告	5
2022年度企画展I「印刷文化の黎明—インキュナブラからキリシタン版まで—」実施報告	9
2022年度企画展II／やさしいキリスト教展シリーズ	
「キリスト教美術をみとく—キリスト・聖母・聖人—」実施報告	13
2022年度西南学院大学博物館・西南学院史資料センター連携企画展／研究室訪問シリーズIV	
「学院史のなかの神学部—成立と歩み、そして現在—」実施報告	16
常設展示室テーマ展示「波多野培根先生記念日特集展示」実施報告	19
常設展示室テーマ展示「新収蔵品展『出島のくらし』」実施報告	20
常設展示室テーマ展示「聖書植物園のあゆみ」実施報告	21
常設展示室博物館ニュース展示 実施報告	22
1.2 共同・連携事業による展示活動	
【南島原市】産官学連携サテライト展示・相互貸借特集展示 実施報告	23
2. 教育・研究活動	
博物館実習	29
2022年度博物館実習成果展	31
せいなんワークショップ概要	33
博物館刊行物・成果物	39
博物館教職員活動記録	43
3. 来館者動向	
来館者統計	47
特別展期間中来館者動向	48
来館団体一覧	49
4. その他	
メディア掲載一覧	50
寄贈図書一覧	50
博物館規程	55
西南学院大学博物館組織	66

# 1. 展示活動

## 1.1 西南学院大学博物館主催の展示活動

### 2022年度特別展

## 「掘り出された祈りー考古学からみた筑前・筑後のキリシタンー」 実施報告

会期：2023年1月23日(月)～3月11日(土)

会場：西南学院大学博物館1階特別展示室

後援：福岡市 福岡市教育委員会 (公財)福岡市文化芸術振興財団

協力：朝倉市秋月博物館 臼杵市教育委員会 大分県立埋蔵文化財センター 大分市歴史資料館  
大野城市教育委員会 九州大学附属図書館

(公財)北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室 久留米市 久留米市教育委員会

神戸市立博物館 水鏡天満宮 大刀洗町教育委員会 福岡市 福岡市博物館

福岡市埋蔵文化財センター 南島原市 龍光山円清寺

担当：鬼東芽依(学芸研究員)

### 事業内容

本展示会では、16世紀後半から17世紀前半までの筑前・筑後地域におけるキリスト教の広まりを紹介した。出品資料は、福岡県内を中心として、キリスト教布教の中心地であった大分県や長崎県から借用した。特に、大野城市教育委員会と久留米市教育委員会からは初公開となる資料を借用し、展示させていただいた。関連刊行物として、展示会図録(研究叢書)を刊行した。図録には、出品資料所蔵機関より画像の提供をいただいたほか、キリシタン考古学研究者の皆様よりコラム・論考を寄稿していただいた。さらに関連事業として、臼杵市教育委員会・神田高士氏、南島原市教育委員会・松本慎二氏のご協力のもと、公開シンポジウムを開催した。



## 開催概要

1549(天文18)年、イエズス会宣教師フランシスコ・ザビエルによって日本にキリスト教が伝来した。1551(天文20)年には、大友義鎮(宗麟)によって豊後府内でキリスト教の布教が許可され、1554(天文23)年には教会用地が与えられた。また、当時、事実上大友氏の勢力圏であった博多においても、1557(弘治3)年に教会用地が与えられており、布教活動がはじまったとされる。その後、博多のほかに久留米や秋月にも教会が建てられ、宣教師らが活動を行っており、筑前・筑後でのキリシタンの様子を示す遺物(「キリシタン遺物」)が福岡県内の各地から出土している。

本展覧会は、おもに福岡県内の遺跡から出土したキリシタン遺物をもとに、筑前・筑後のキリシタンの実態について紹介するものである。また、九州におけるキリスト教布教の一大拠点であった豊後(大分県の一部)や、島原・天草一揆の舞台となった肥前原城(長崎県南島原市)において出土したキリシタン遺物についても扱い、周辺地域でのキリスト教受容の状況や、筑前・筑後のキリシタンに与えた影響などについて紹介したい。

## 展覧会構成

- I キリスト教のおとずれ
- II 筑前・筑後におけるキリスト教の伝播
- III 島原・天草一揆 受難へ





## ■2022年度西南学院大学博物館特別展

## 「掘り出された祈り—考古学からみた筑前・筑後のキリシタン—」出品目録

番号	指定 資料名	制作年／制作地もしくは出土遺跡名／制作者 (考古資料は不記載)／素材・形態	法量(cm)	点数	所蔵(原資料所蔵先)
<b>I キリスト教のおとずれ</b>					
1	日本図(複製)	1606年／アムステルダム(オランダ)／ホドカス・ホンディウス／銅版、彩色	縦48.3、横56.5	1	西南学院大学博物館 (九州大学附属図書館)
2	聖フランシスコ・ザビエル像(複製)	17世紀前半／日本／制作者不詳／紙本着色	縦61.0、横48.7	1	西南学院大学博物館 (神戸市立博物館)
3	『ローマ教皇グレゴリオ13世伝』	1596年／ローマ(イタリア)／マルコ・アントニオ・チャッピ／版本	縦21.5、横15.8	1	大分市歴史資料館
4	『聖フランシスコ・ザビエル伝』	1793年／ローマ(イタリア)／ジュゼッペ・マッセイ／版本	縦19.8、横14.0	1	西南学院大学博物館
5	府内型メダイ(複製)	16世紀後半／中世大友府内町跡(大分県大分市)／鉛	長さ2.2、幅1.7、厚さ0.3／長さ2.2、幅1.7、厚さ0.1	2	西南学院大学博物館 (大分県立埋蔵文化財センター)
6	十字架鋳型瓦	16世紀後半～17世紀初頭／臼杵城跡(大分県臼杵市)／軒丸瓦	縦10.3、横13.8	1	臼杵市教育委員会
7	「INRI」銘石造物	16世紀後半～17世紀初頭／下藤地区キリシタン墓地(大分県臼杵市)／凝灰岩	縦34.8、横28.5、厚さ15.0	1	臼杵市教育委員会
<b>II 筑前・筑後におけるキリスト教の伝播</b>					
8	ヴェロニカのメダイと十字架鋳型(複製)	16世紀後半／博多遺跡群(福岡県福岡市)／粘土	縦4.0、横5.5	1	朝倉市秋月博物館 (福岡市埋蔵文化財センター)
9	マリアとキリストのメダイ(複製)	16世紀後半／博多遺跡群(福岡県福岡市)／鉛・錫	縦3.2、横2.3	1	朝倉市秋月博物館 (福岡市埋蔵文化財センター)
10	府内型メダイ(複製)	16世紀後半／博多遺跡群(福岡県福岡市)／銅	縦2.1、横1.8	1	朝倉市秋月博物館 (福岡市埋蔵文化財センター)
11	北九州市指定有形文化財メダイ	16世紀後半／黒崎城跡(福岡県北九州市)／鉛・錫	長さ2.8、幅2.2、厚さ0.3	1	北九州市教育委員会
12	十字架	17世紀か／瑞穂遺跡(福岡県大野城市)／銅地銀箔貼り金渡金か	縦1.2、横0.7	1	大野城市教育委員会
13	数珠玉	17世紀／瑞穂遺跡(福岡県大野城市)／ガラス	全長6.0～3.0	3連	大野城市教育委員会
14	罪標付十字架浮文軒丸瓦	17世紀初頭／秋月城跡(福岡県朝倉市)／軒丸瓦	径15.6	1	朝倉市秋月博物館
15	十字浮文軒平瓦	17世紀初頭／久留米城下町遺跡第2次調査(両替町遺跡)(福岡県久留米市)／軒平瓦	1 縦26.8、横25.7 2 縦13.8、横17.2	2	久留米市教育委員会
16	口ザリオ玉	17世紀初頭／久留米城下町遺跡第2次調査(両替町遺跡)(福岡県久留米市)／ガラス	1 残存幅1.0、厚さ0.9 2 縦1.0、横1.0、厚さ0.6	2	久留米市教育委員会
17	花十字文染付碗	17世紀初頭か／久留米城下町遺跡第2次調査(両替町遺跡)(福岡県久留米市)	残存幅10.5cm、残存高3.0cm、底径5.8cm	1	久留米市教育委員会
参考	両替町遺跡キリスト教会堂復元模型	現代	幅45.0、奥行57.0、高さ17.5	1	久留米市
18	筑後国宗門手形	1795(寛政7)年／筑後国上妻郡川瀬村(福岡県八女郡広川町)／西念寺／紙本墨書	縦26.0、横34.1	1	西南学院大学博物館
19	大刀洗町指定文化財『邪宗門一件口書帳』	1868(明治元)年／福岡県三井郡大刀洗町／伝 老松神社(写)／縦帳(半紙本)、紙本墨書	縦24.0、横17.5	1	大刀洗町教育委員会
<b>III 島原・天草一揆 受難へ</b>					
20	鉛玉	17世紀初頭／原城跡(長崎県南島原市)／鉛	径1.5～1.6	13	南島原市教育委員会
21	十字架	17世紀初頭／原城跡(長崎県南島原市)／鉛	縦2.8／縦2.9／縦2.5	3	南島原市教育委員会

22	ロザリオ珠	17世紀初頭／原城跡(長崎県南島原市)／ガラス	径0.7／径0.7／径0.5／径0.5	4	南島原市教育委員会
23	『山田右衛門作白状』	江戸時代／制作地不詳／制作者不詳／紙本墨書、豎帳(大本)	縦27.2、横18.0	1	南島原市教育委員会
24	原城包圍御陣型図(天草城責図)(複製)	江戸時代／長崎／制作者不詳／紙本着色	縦181.2、横190.0	1	西南学院大学博物館(個人蔵、南島原市教育委員会寄託)

## 関連事業

### 特別展関連公開シンポジウム「考古学からみた九州の地域社会とキリシタン」

日 時：2023年2月25日(土) 13:00～16:00

会 場：西南コミュニティーセンター1階ホール

来場者：71名

司 会：鬼束芽依(西南学院大学博物館 学芸研究員)

論者ならびに演題：

神田高士氏(臼杵市教育委員会 文化・文化財課 課長)

「開発・祖霊・婿養子 残されたキリシタン墓地」

松本慎二氏(南島原市教育委員会 世界遺産推進室 室長) 「原城跡」

伊藤慎二(西南学院大学博物館 館長) 「北部九州の潜伏キリシタンとその信仰復活期の墓地」



## 2022年度企画展I

# 「印刷文化の黎明—インキュナブラからキリシタン版まで—」 実施報告

会期：2022年6月6日(月)～8月8日(月)

会場：西南学院大学博物館 1階特別展示室

後援：福岡市 福岡市教育委員会 (公財)福岡市文化芸術振興財団

協力：文林堂 印刷博物館 西南学院大学図書館

担当：下園知弥(博物館教員) 勝野みずほ(学芸調査員)

### 事業内容

西南学院大学博物館の所蔵資料の中には初期活版印刷本(インキュナブラ)に関するまとまった数のコレクションがあり、現在も収集を継続的におこなっている。本展覧会は、これまで収集してきたインキュナブラ・コレクションをすべて展示するという狙いで企画されたものであり、印刷博物館や文林堂(活版印刷所)の協力のもと、印刷された資料のみならず印刷技術や印刷道具、印刷の歴史についても紹介した。また、本展覧会では関連事業として「公開講座(出前授業「印刷の世界史」)」、「常設ワークショップ(活版印刷体験)」も実施した。



## 開催概要

15世紀中頃、ヨハネス・グーテンベルクが活版印刷術を完成させてから1500年までの間に印刷された書物を「インキュナブラ」(ラテン語で「揺籃」という意味)と呼びます。インキュナブラは、挿絵や装飾が手作業で描き込まれることもあり、印刷本と写本の両方の性質を併せ持っていました。活版印刷術は、印刷職人の移動に伴ってヨーロッパの諸都市に伝播し、さらに1590年には、イエズス会司祭の発案によって日本にもたらされることとなりました。こうした印刷技術の伝播は、より廉価に、大量の書物を刊行することを可能とし、読者層の拡大をもたらしたのです。

本展覧会では、かつての面影を残しながらも変化していく書物のすがたを通し、現代まで続いてきた印刷文化の黎明期に迫ります。

## 展覧会構成

第1章 写本から印刷本へ

第2章 印刷都市の拡大

第3章 日本伝来



## ■2022年度西南学院大学博物館企画展 I

## 「印刷文化の黎明—インキュナブラからキリシタン版まで—」出品目録

番号	資料名	製作時期／製作地／製作・出版者／素材・形態 [ ]内は複製・復刻	法量 (cm)	所蔵 [ ]内は複製・復刻
<b>第1章 写本から印刷本へ</b>				
1	『42行聖書』(複製)	1455年頃／マインツ／ヨハネス・グーテンベルク印行／羊皮紙に活版、手彩 [1979年／ミュンヘン／Idion Verlag / 複製本]	縦47.0×横37.5	国立プロイセン財団図書館およびフルダ州立図書館 [西南学院大学図書館]
2	楽譜付きミサ典書写本断片	1150年頃／ドイツ(ラインラントか) / 制作者不詳／羊皮紙に手彩	縦12.0×横32.0	西南学院大学博物館
3	12世紀ラテン語聖書写本零葉	12世紀／西欧／制作者不詳／羊皮紙に手彩、ギルディング	縦48.2×横31.5	西南学院大学博物館
4	13世紀ラテン語聖書写本零葉	1250年頃／パリ／制作者不詳／羊皮紙に手彩	縦14.8×横10.0	西南学院大学博物館
5	聖母マリアの小聖務日課書	1480年頃／北フランス／制作者不詳／羊皮紙に手彩、ギルディング	縦15.0×横9.9	西南学院大学博物館
6	フランス時禱書「死者への祈り」	1450年頃／フランス／制作者不詳／羊皮紙に手彩、ギルディング	縦23.0×横16.0	西南学院大学博物館
7	フランス時禱書「全使徒への祈り」	1510-20年頃／パリ／制作者不詳／羊皮紙に手彩、ギルディング	縦16.0×横10.5	西南学院大学博物館
8	福音書零葉	1479年／ヴェネツィア／ニコラ・ジャンソン印行／紙に活版、手彩、ギルディング	縦32.0×横23.6	西南学院大学博物館
9	聖ヒエロニムス「マタイ福音書註解」	1497-98年／ヴェネツィア／グレゴリース兄弟印行／紙に活版・木版	縦34.0×横22.5	西南学院大学博物館
10	『キリストの生涯』	1499年／ズウォレ／ザクセンのルドルフ著、ペーター・ファン・オズ印行／紙に活版・木版、手彩	縦27.3×横18.9	個人蔵
11	時禱書零葉「受胎告知図」	1500年頃／西欧(フランスか) / 印刷者不詳／羊皮紙に活版・木版、手彩、ギルディング	縦31.0×横25.5	西南学院大学博物館
12	パリ時禱書零葉	1502年頃／パリ／シモン・ヴォートル印行／羊皮紙に活版・金属凸版か、手彩、ギルディング	縦17.3×横11.3 縦17.7×横11.2 縦17.5×横11.3	西南学院大学博物館
<b>第2章 印刷都市の拡大</b>				
1節 Nürnberg				
13	ラテン語聖書「歴代誌」	1478年／ニュルンベルク／アントン・コーベルガー印行／紙に活版、手彩	縦41.0×横29.0	西南学院大学博物館
14	デューラー『聖母伝』(複製)	1511年／ニュルンベルク／アルブレヒト・デューラー／書冊、紙に木版 [2015年／サラマンカ／C.M. Editores / 複製本]	縦32.7×横24.5	スペイン国立図書館およびバイエルン州立図書館 [西南学院大学博物館]
15	ニュルンベルク図	1493年か／ニュルンベルク／ミヒャエル・ヴォルゲムート作、アントン・コーベルガー印行／紙に活版・木版	【図左側】 縦39.5×横28.0 【図右側】 縦38.0×横28.0	西南学院大学博物館
2節 Venezia				
16	ダンテ『神曲』煉獄篇・天国篇	1491年／ヴェネツィア／ダンテ・アリギエーリ著、ペトルス・デ・ピアシス出版／紙に活版・木版	【煉獄篇】 縦31.2×横20.6 【天国篇】 縦30.7×横19.7	西南学院大学博物館
17	聖句註解付きラテン語聖書	【ジャンソン版】1481年／ヴェネツィア／ニコラ・ジャンソン印行／紙に活版、手彩 【スコット版】1489年／ヴェネツィア／オッタヴィアーノ・スコット印行／紙に活版、手彩	【ジャンソン版】 縦31.2×横41.2 【スコット版】 縦36.3×横24.6	西南学院大学博物館
18	『栄光なるおとめマリアのロザリオ』	1556年／ヴェネツィア／アルベルト・ダ・カステッロ著、ピエトロ・ラヴァーニ印行／紙に活版・木版、ヴェラム装	縦15.0×横10.5	西南学院大学博物館
<b>第3章 日本伝来</b>				
19	『サントスのご作業の内抜書』(復刻)	1591(天正19)年／加津佐／イエズス会印行／洋装本、紙に活版[2006(平成18)年／日本／雄松堂出版／書冊]	縦16.0×横11.0	マルチャーナ国立図書館 [西南学院大学図書館]



番号	資料名	製作時期／製作地／製作・出版者／素材・形態 [ ]内は複製・復刻	法量 (cm)	所蔵 [ ]内は複製・復刻
20	『どちりな・きりしたん』 (復刻)	1591(天正19)年／加津佐もしくは天草／イエズス会印行／和装本、紙に活版[1978(昭和53)年／日本／雄松堂書店／和装本]	縦24.2×横18.0	ヴァチカン教皇庁図書館 [西南学院大学図書館]
21	『ぎや・ど・ぺかどる』 (復刻)	【上巻】 1599(慶長4)年／長崎／ルイス・デ・グラナダ原著、イエズス会印行／和装本、紙に活版[2006(平成18)年／日本／雄松堂出版／和装本] 【下巻】 1599(慶長4)年／長崎／ルイス・デ・グラナダ原著、イエズス会印行／洋装本、紙に活版[2006(平成18)年／日本／雄松堂出版／書冊]	【上巻】 縦26.1×横19.7 【下巻】 縦26.2×横19.3	【上巻】 天理図書館 [西南学院大学図書館] 【下巻】 イエズス会日本管区 [西南学院大学図書館]
22	『こんてむつすむん地』 (復刻)	原本：1610(慶長15)年／京都／原田アントニオ印行／和装本、紙に活版[1921(大正10)年／日本／稀書複製会編、米山堂／書冊]	縦29.2×横20.0	天理図書館 [西南学院大学博物館]
23	タルタリア図	1570年以降／アントワープ／アブラハム・オルテリウス／紙に銅版、手彩	縦40.0×横53.0	西南学院大学博物館
24	『サカラメンタ提要』 (復刻)	1605(慶長10)年／長崎／ルイス・デ・セルケイラ編、イエズス会印行／洋装本、紙に活版、二色刷[2006(平成18)年／日本／雄松堂出版／書冊]	縦22.0×横16.5	上智大学キリシタン文庫 [西南学院大学図書館]
25	『羅葡日対訳辞書』 (復刻)	1595(文禄4)年／天草／イエズス会印行／洋装本、紙に活版[1979(昭和54)年／日本／勉誠社／書冊]	縦26.4×横19.2	オックスフォード大学 ボドレアン図書館 [西南学院大学図書館]
26	『羅日辞書』	1870年／ローマ／ペルナル・プティジャン／書冊	縦27.4×横19.8	西南学院大学図書館

# 2022年度企画展II / やさしいキリスト教展シリーズ 「キリスト教美術をみとくーキリスト・聖母・聖人ー」 実施報告

会期：2022年9月19日(月)～2023年1月14日(土)

会場：西南学院大学博物館1階特別展示室

担当：山尾彩香(学芸研究員)

## 事業内容

西南学院大学博物館では、「楽しみながら学ぶ」をコンセプトの一つとして、さまざまな展示・教育活動をおこなっている。本展覧会では、このコンセプトに基づきつつ、キリスト教美術の鑑賞の仕方をわかりやすく伝えることを企図した新シリーズ「やさしいキリスト教展シリーズ」の第一弾として実施した。展覧会タイトルの「みとく」は、「見解く(見て理解すること)」と「味得(内容をよく味わって自分のものにする)」の二つの意味を込めた言葉である。展覧会関連事業としては、「ジョージくんからの挑戦状!」というクイズ・プレゼント企画を実施した。



## 開催概要

世界で最も多くの人々が信仰しているとされるキリスト教。しかしキリスト教の文化や芸術は、教派や地域によってさまざまです。やさしいキリスト教展シリーズは、古今東西、キリスト教に関する事柄や分野を、博物館のコレクションとともに分かりやすく「みとく(見解く・味得)」企画展です。今回のテーマはキリスト教美術です。

キリスト教美術はポイントをつかめば「なに」が描かれているのかがわかる美術でもあります。本展覧会では、キリスト教の主要な人物であるイエス・キリスト、聖母マリア、諸聖人に注目してキリスト教美術をみときます。

## 展覧会構成

第1章 イエス・キリスト

第2章 聖母マリア

第3章 聖人





## ■2022年度西南学院大学博物館企画展Ⅱ／やさしいキリスト教展シリーズ

### 「キリスト教美術をみとくーキリスト・聖母・聖人ー」出品目録

番号	資料名	年代／製作地／制作／形状／所蔵 ※複製は原資料を掲載	サイズ(縦×横cm)
<b>序</b>			
1	マリア十五玄義図(複製)	原資料：16世紀末-17世紀初頭／日本／京都大学総合博物館蔵	73.9×60.9
2	ロザリオの聖母	19世紀頃／ヨーロッパ／ヤン・ヴィーリクス／紙に銅板	13.0×9.4
3	ロザリオ	1900年頃／合金、樹脂	全長43
<b>第Ⅰ章 イエス・キリスト</b>			
4	時禱書零葉「玉座の聖母子」	1502年頃／パリ(フランス)／羊皮紙に活版、木版、手彩、ギルティング	17.5×11.3
5	全能者キリスト	20-21世紀／ギリシア／板、着色	19.0×15.0
6	救世主像(複製)	原資料：日本／銅板に油彩／東京大学総合図書館蔵	23.0×17.0
7	キリストの降誕	20-21世紀／ギリシア／板、着色	25.0×19.0
8	東方三博士の礼拝	17世紀以降／フランドル／カンヴァスに油彩、額装	72.5×51.0
9	時禱書零葉「キリストの生涯」	1502年頃／パリ(フランス)／羊皮紙に活版、木版、手彩、ギルティング	17.5×11.3
10	『神曲』天国篇	1491年／ヴェネツィア(イタリア)／ダンテ・アリギエーリ／紙に活版・木版	30.7×19.7
11	最後の晩餐(中国様式)	21世紀／香港(中国)／陶製	直径33
12	キリストの鞭打ち	ロシア／木製、着色	5.5×4.5
13	磔刑	18世紀／フィリピン／木製、着色	64.0×42.5
14	時禱書零葉「磔刑」	1502年頃／パリ(フランス)／羊皮紙に活版、木版、手彩、ギルティング	17.5×11.3
15	『福音書についての註解と瞑想』	1595年／アントワープ(ベルギー)／ヘロニモ・ナダル／紙に銅板	33.5×23
<b>第Ⅱ章 聖母マリア</b>			
16	『聖母伝』(複製)	原資料：1511年／ドイツ／アルブレヒト・デューラー／書冊、木版／スペイン国立図書館、バイエルン州立図書館蔵	32.7×24.5
17	時禱書零葉「受胎告知」	1500年頃／ヨーロッパ／羊皮紙に活版、彩色、メタルカット	31.0×25.5
18	エステ家アルフォンソ1世の聖務日課(複製)	原資料：1505-10年頃／フェッラーラ(イタリア)／羊皮紙に彩色／カルスト・グルベンキアン財団博物館、ストロスマイヤーギャラリー蔵	27.5×19.3
19	悲しみのマリア	18世紀／フィリピン／木製、着色	38.5×25.5
20	親指のマリア(複製)	原資料：17世紀後半／イタリア／カルロ・ドルチ派／銅板に油彩／東京国立博物館蔵	24.3×19.5
21	ピエタのメダイ	17世紀／青銅	2.3×2.0
22	トリノ=ミラノ時禱書(複製)	原資料：1380-90、1420年／フランス／ヤン・ファン・エイクほか／トリノ市立古典美術館蔵	29.2×21.5
23	聖母被昇天	21世紀／イタリア／PEMA／木製、着色	17.5×7.0×奥行5.3
24	戴冠の聖母	19世紀／フィリピン／木製、着色	31.3×13.8×奥行8.4
25	無原罪の御宿りのメダイ	1854年／イタリアもしくはフランス／青銅	3.8×2.8
26	無原罪の御宿りの聖母像	21世紀／イタリア／PEMA／木製、着色	19.5×8.5×奥行6.5
27	無原罪の御宿りの聖母像	18世紀／フィリピン／木製、着色	27.5×9.0×奥行8.0
<b>第Ⅲ章 聖人</b>			
28	リンディスファーン福音書(複製)	原資料：698年／イギリス／羊皮紙／大英図書館蔵	36.5×30.5
29	ゲティの黙示録(複製)	原資料：13世紀半ば／イギリス／J. ポール・ゲティ美術館蔵	32.6×23.5
30	ヴェリスラフ聖書(複製)	原資料：1325-1349年／羊皮紙／チェコ国立図書館蔵	30.7×24.5
31	祭壇画レリーフ	1480年頃／オランダ／木製	51.0×58.5
32	時禱書零葉「全使徒への祈り」	1510-20年／パリ(フランス)／羊皮紙	16.0×10.5
33	聖フランシスコ・ザビエル伝	1793年／ローマ(イタリア)／ジュゼッペ・マッセイ／紙に活版・銅版	19.8×14.0
34	受胎告知と諸聖人	19-20世紀／ルーマニア／ガラス製、着色、額装	71.0×61.0

# 2022年度西南学院大学博物館・西南学院史資料センター連携 企画展／研究室訪問シリーズIV

## 「学院史のなかの神学部—成立と歩み、そして現在—」

### 実施報告

会期：2023年3月1日(水)～5月22日(月)

会場：西南学院大学博物館 1階常設展示室

主催：西南学院大学博物館 西南学院史資料センター

協力：西南学院大学神学部 西南学院大学図書館

担当：下園知弥(博物館教員) 宮川由衣(西南学院史資料センターアーキビスト)

#### 事業内容

本展覧会は、2018年度より始まった大学教員の研究教育活動を紹介する「研究室訪問シリーズ」の第4弾であり、神学部教員の協力のもと、神学部の歴史と現在の活動を紹介することを目的として企画されたものである。また、西南学院大学博物館と西南学院史資料センターの初の共同開催展覧会であり、両施設が属する社会連携課の連携を強化することも狙いの一つとしている。そのため、本事業では、大学博物館と学院史資料センターからそれぞれ1名が担当者となり、連携して展覧会の立案・準備・運営をおこなった。



## 開催概要

西南学院大学神学部の源流は、学院創立の1916(大正5)年よりも以前、1907(明治40)年の福岡バプテスト神学校の設立に求めることができます。設立以来、神学部は大名、西新、干隈とキャンパス移転を繰り返し、2023(令和5)年現在は西新キャンパスで他の学部と共に教育・研究の日々を過ごしています。100年以上にわたるこの長い歴史の中で、多くの問題に直面しながら、神学部は牧会や教育の現場でキリスト教について語る人々を育て世に送り出してきました。本展覧会では、その歴史の一端と現在の神学部教育について、さまざまな資料と共に紹介します。

## 展覧会構成

第1章 神学部の成立と歩み

第2章 現在の神学部教育



## ■2022年度西南学院大学博物館・西南学院史資料センター連携企画展

## 研究室訪問シリーズIV

## 「学院史のなかの神学部—成立と歩み、そして現在—」出品目録

番号	資料名	制作・出版年／制作・出版地／ 制作者・出版社／素材・形態	法量(縦×横cm) 器物は(縦×横×高cm)	所蔵
<b>第1章 神学部の成立と歩み</b>				
1-1	H.A. Tupper, <i>The Foreign Missions of Southern Baptist Convention</i>	1880年／ヴァージニア Foreign Mission Board of the Southern Baptist Convention／書冊	23.4×16.0	西南学院大学図書館 (ドージャー文庫)
1-2	H.A. Tupper, <i>A Decade of Foreign Missions 1880-1890</i>	1891年／ヴァージニア Foreign Mission Board of the Southern Baptist Convention／書冊	22.9×16.0	西南学院大学図書館 (ドージャー文庫)
1-3	高橋樞雄編『日本バプテスト史略』(上・下)	上巻：1923(大正12)、下巻：28(昭和3) 年／東京／東京三崎会館書冊(全2巻)	各巻19.2×13.3	西南学院大学図書館
1-4	千葉勇五郎『世界バプテスト略史』	1932(昭和7)年／東京／東京新生館／書冊	18.7×12.7	西南学院大学図書館
1-5	Everett Gill, <i>A.T. Robertson: A Biography</i>	1943年／ニューヨーク／Macmillan／書冊	20.9×14.5	須藤伊知郎
1-6	バプテスト神学校卒業証書	1901(昭和34)年／横浜か／紙／バプテスト神学校	40.0×52.2	西南学院史資料センター
1-7	私立西南学院設立許可書 *パネル展示	1916(大正5)年／福岡／福岡県／紙	25.7×18.2	西南学院史資料センター
1-8	神学部予算書(大正12～昭和10年度)	1923(大正12) — 1935(昭和10)年／福岡／西南学院／冊子	24.4×18.8	西南学院史資料センター
1-9	神学部図書原簿	1923(大正12) — 1934(昭和9)年／福岡／西南学院／書冊	34.0×23.4	西南学院史資料センター
1-10	神学生募集ポスター	1935(昭和10)年／福岡／西南学院／紙	36.1×26.4	西南学院史資料センター
1-11	神学館の表札	1955(昭和30)年／福岡／下瀬加守／木製	30.0×60.5×3.0	西南学院史資料センター
1-12	『ケリグマ』創刊号	1954(昭和29)年／福岡／西南牧羊会／小冊子	26.5×20.0	西南学院史資料センター
1-13	『道』創刊号	1975(昭和50)年／福岡／西南大神学部学会／小冊子	25.7×18.2	西南学院史資料センター
1-14	神学校問題の証拠スクラップ	1969(昭和44) — 1971(昭和46)年／福岡／西南学院／スクラップブック	42.0×31.5	西南学院史資料センター
1-15	『西南学院大学神学部移転記念誌 干隈から西新へ 想起と展望』	2000(平成12)年／福岡／西南学院大学神学部移転記念祭実行委員会／小冊子	25.7×18.2	西南学院史資料センター
1-16	『神学部建学100周年を祝う —Another Centuryに向けて—』	2008(平成20)年／福岡／西南学院大学神学部／小冊子	25.7×18.2	西南学院史資料センター
<b>第2章 現在の神学部教育</b>				
2-1	<i>The Complete Works of Andrew Fuller: With a Memoir of His Life</i>	1845年／フィラデルフィア／American Baptist Publication Society 書冊(全3巻)	各巻23.5×16.0	西南学院大学図書館
2-2	William L. Lumpkin and Bill J. Leonard, <i>Baptist Confessions of Faith, Second Revised Edition</i>	2011年(1959年初版)／アメリカ／Judson Press／書冊	22.4×14.5	金丸英子
2-3	Robert C. Dykster ed., <i>Images of Pastoral Care: Classic Readings</i>	2005年／ミズーリ／Chalice Press／書冊	22.9×15.2	才藤千津子
2-4	R・C・ミラー『死の教育』	1995(平成7)年／東京／ヨルダン社／書冊	18.9×13.0	才藤千津子
2-5	Martin Heidegger, <i>Sein und Zeit</i>	1979年／チュービンゲン／Max Niemeyer／書冊	22.4×14.6	濱野道雄
2-6	教会調査票	2006年(ファイル)、2013年(調査票)／日本／濱野道雄／調査票(39枚)、ファイル(3冊)	[調査票] 29.7×21.0 [ファイル] 各30.5×23.0	濱野道雄
2-7	<i>Biblia Hebraica Stuttgartensia</i> (BHS)	1990年／シュトゥットガルト／ドイツ聖書協会／書冊	24.0×16.0	日原広志
2-8	契約の箱	現代／イスラエル／Amy／金属製	17.0×7.5×16.0	日原広志
2-9	『神は言葉のなかへ E. シュヴァイツァー説教集』	1980(昭和55)年／東京／ヨルダン社／書冊	19.4×13.5	須藤伊知郎
2-10	Jürgen Roloff, <i>Neues Testament, 3. Auf.</i>	1982年(1977年初版)／ノイキルヒエン＝フリュン Neukirchener Arbeitsbücher／書冊	22.0×14.6	須藤伊知郎



# 常設展示室テーマ展示

## 「波多野培根先生記念日特集展示」実施報告

会期：2022年10月22日（土）～11月12日（土）

会場：西南学院大学博物館 1階ドージャー記念室

担当：栗田りな（学芸調査員）

### 概要

波多野培根（1868-1945）は、明治後期から第二次世界大戦期までの日本における教育・伝道を支えたキリスト者の一人である。同志社をはじめとする日本各地での教育・伝道活動を経て、1920（大正9）年9月、53歳の時に西南学院へ赴任し、約24年にわたって西南学院の教育を支え続け、学院の歴史に重要な足跡を残した。本テーマ展示では1950（昭和25）年に波多野培根の功績を称えて11月7日に設定された「波多野培根先生記念日」にちなみ、波多野の著作や直筆の格言が記された資料3点を紹介した。

### 展示資料：

#### ①「新島先生の生涯の意義」

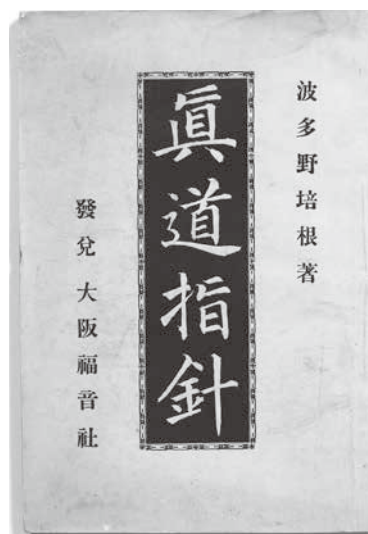
1940（昭和15）年／日本／同志社／新聞／西南学院史資料センター

#### ②『真道指針』

1893（明治26年）／日本／波多野培根著、大阪福音社／書冊／西南学院史資料センター

#### ③円額

1932（昭和7）年／日本／波多野培根／紙・毛筆／西南学院史資料センター



## 常設展示室テーマ展示 「新収蔵品展『出島のくらし』」実施報告

会期：2022年11月22日（火）～2023年2月25日（土）

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

担当：鬼東芽依（学芸研究員）

### 概要

オランダ商館が廃止される1859（安政6）年まで、出島はオランダ商館員たちの生活の場であった。当時のオランダ人たちの生活風景は、絵画や書物に描かれ、現代まで伝わっている。また、考古学的発掘調査によって検出された遺構、出土した遺物は、当時の出島の様子をありのままに伝える。

当館では江戸時代の日蘭交流関連資料を収集している。本展示では新収蔵品展として、近年収集した出島と日蘭交流に関する資料を中心に展示し、当時の出島のくらしを紹介した。



# 常設展示室テーマ展示 「聖書植物園のあゆみ」実施報告

会期：2023年3月14日(火)～5月22日(火)

会場：西南学院大学博物館1階

担当：栗田りな(学芸調査員)

## 事業内容

西南学院大学の構内に点在するように広がる「聖書植物園」には、聖書に登場する多くの種類の植物が収集されており、開園当初から多くの人々によって管理・維持され、発展してきた。本展示では、聖書植物園が作られるに至った経緯から、今までの聖書植物園の歩みを、聖書植物園の開園に携わった人々や団体、現在維持に貢献している人々や団体の活動とともに紹介した。また、聖書植物園の歴史にとって、特に記念となる聖書植物を紹介した。

## 主な展示資料：

聖書植物園パンフレット

初版2017年、第2版2019年／福岡／A5版、複数ページ／西南学院



## 常設展示室博物館ニュース展示 実施報告

### 概要

毎年3回刊行している「西南学院大学博物館ニュース」において、博物館資料の紹介を目的としたシリーズ「所蔵品紹介」の記事がある。本展示は、「所蔵品紹介」で取り上げられた資料を、博物館ニュースの刊行にあわせて常設展示室にて展示をするものである。「所蔵品紹介」の記事は学芸調査員が執筆をしており、本展示は担当学芸調査員の展示事業の実務研修も兼ねている。

### 2022年度実施報告

2022年度は、ニュース刊行に合わせて計三つのニュース展示を実施し、キリスト教文化から1点、日本キリスト教史から2点の資料を展示した。

#### 博物館ニュース第45号展示

「十字文鏝」

担当者 相江なぎさ(学芸調査員)

#### 博物館ニュース第46号展示

「ジンボトル(天保四年箱付き)」

担当者 鬼束芽依(学芸研究員)

#### 博物館ニュース第47号展示

「エルサレムスカヤの聖母」

担当者 下園知弥(博物館教員)





## 1.2 共同連携事業による展示活動

【長崎県南島原市】

### 2022年度サテライト展示 I

## 「異国を知る—海外早わかり！ 江戸時代の『異国』解説書たち—」 実施報告

会期：2022年4月25日（月）～7月31日（日）

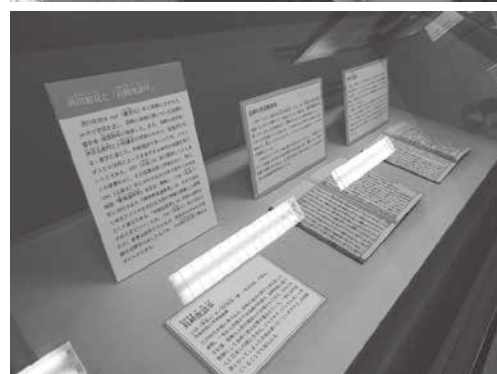
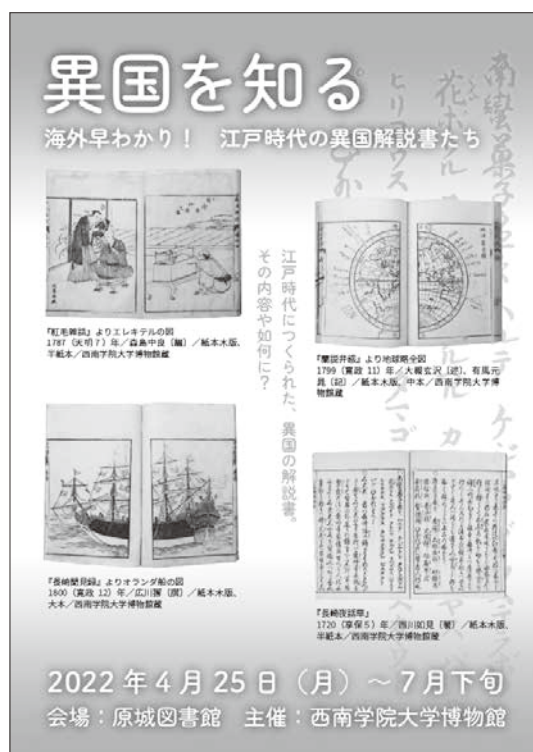
会場：長崎県南島原市原城図書館

主催：西南学院大学博物館

担当：鬼東芽依（学芸研究員）

江戸幕府によるいわゆる「鎖国」体制のなか、人々はどのようにして海外の知識を得ていたのだろうか。もちろん一般大衆には洋書などは流通しておらず、洋書を読むことで海外の知識を得たり、文化を知ったりすることはできない。そこで、知識人たちは実際に長崎に行ってオランダ人たちに面会したり、オランダ人と関わりのある長崎の役人と交流したりして、海外の知識を得ようとした。そうして得た海外の知識をもとに、長崎や海外を題材とした一般向けの著作を出版した。人々はそれらを読み、当時は未知であった海外の知識を得ていたのである。

本展示では知識人らによる著作を紹介し、江戸時代の日本人が持っていた異国に関する知識や異国に対する関心をたどった。



## 2022年度サテライト展示Ⅱ 「禁教期のキリスト教を語るマテリアル」実施報告

会期：2022年8月1日(月)～12月4日(日)

会場：長崎県南島原市原城図書館

主催：西南学院大学博物館

担当：山本恵梨(学芸調査員)

禁教期のキリスト教信仰については、現存している資料からその記録を確認することができる。しかし、現在まで残されて私たちが目にする「モノ」もまた、当時の様子や歴史を語る資料である。

日本におけるキリスト教信仰の歴史には、宣教師による布教から織田信長による受容期の後、1587(天正15)年に出された豊臣秀吉による伴天連追放令を経て弾圧が強まっていく過程が見られる。江戸幕府が開かれた後も禁教政策などが行なわれ、民衆の宗教を管理する体制が整えられていくことになった。

本展示では、「禁教期」という「自由な信仰のかたちが制限されていた時代」に、どのような方法で人々は信仰を続けていたのか、参考となる「モノ」資料を通して紹介した。



## 2022年度サテライト展示Ⅲ

### 「『読む』キリスト教—初めに言葉があった—」実施報告

会期：2022年12月5日（月）～2023年4月26日（水）

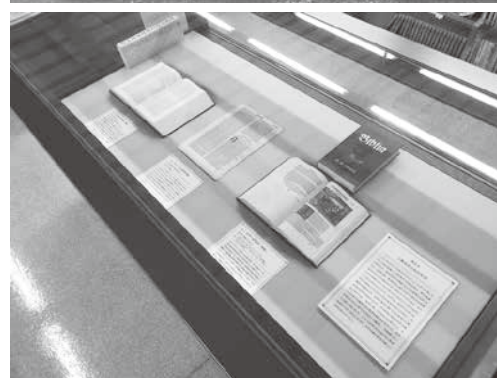
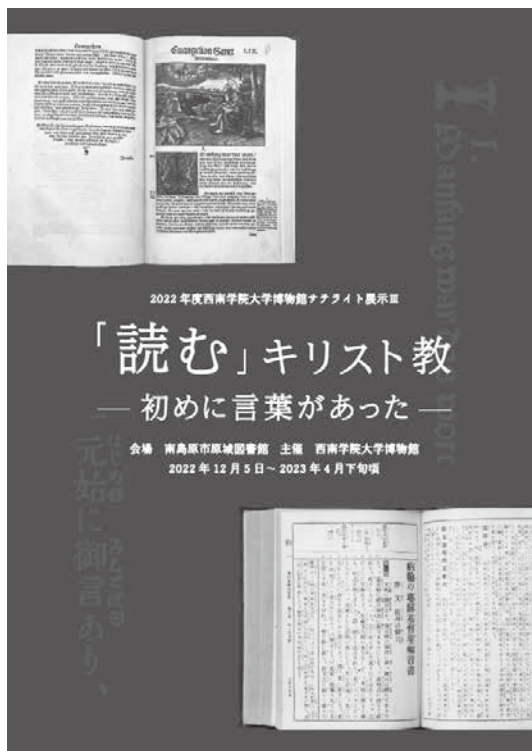
会場：長崎県南島原市原城図書館

主催：西南学院大学博物館

担当：下園知弥（博物館教員）

キリスト教という宗教は、その成立の初めから「言葉」の宗教であった。イエス・キリストは出会った様々な人々に語りかけ、弟子たちを言葉で教育し、この世界に「教え」を遺していった。その後、キリストの「教え」は弟子たちによって聖書というかたちでまとめられ、現在ではさまざまな言語に翻訳されて世界中に宣べ伝えられている。

本展示では、キリスト教が作り出したさまざまな「聖書」の歴史的展開を資料を通して紹介した。





# 令和4年度相互貸借特集展示Ⅰ 「絵図から見る島原・天草一揆と幕府軍」実施報告

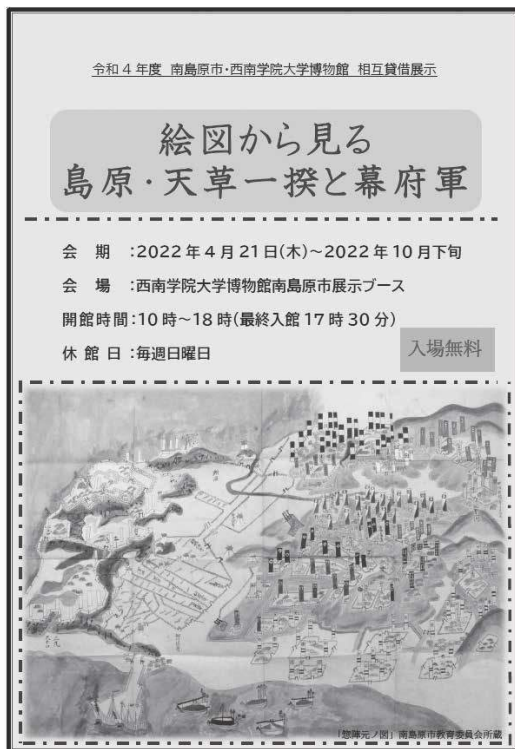
会期：2022年4月21日(木)～11月9日(水)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室 南島原市展示ブース

主催：南島原市教育委員会

島原・天草一揆に関する絵図は、全国各地に残っている。南島原市(長崎県)では、原城跡を包囲する幕府軍の陣旗が描かれた絵図や原城付近の海上にオランダ船が描かれた絵図を所蔵しており、島原・天草一揆の最後の戦いである原城総攻撃の様子を伝える資料である。絵図からもわかるように多くの諸大名が参加した一揆では一揆勢、幕府軍ともに数多の犠牲があった。後世に記された戦死諸士卒名簿には一揆に参加した幕府軍の証言が記録され、戦死者へ饞別として和歌が記された資料も存在する。

本展示では、南島原市が所蔵する絵図や文献資料から幕府軍と島原・天草一揆を紹介した。



# 令和4年度相互貸借特集展示Ⅱ

## 「ロマンを掘る—1992▶原城跡発掘調査展▶2022—」実施報告

会期：2022年11月11日（金）～2023年3月15日（水）

会場：西南学院大学博物館 1階常設展示室 南島原市展示ブース

主催：南島原市教育委員会

平成4年度（1992年）より開始された原城跡の発掘調査は今年で30年を迎えた。史料からは知ることのできない島原・天草一揆の実像を明らかにした発掘調査は、壮大なロマンに夢を膨らませた記録でもあった。

本展示では、現在に続く原城跡発掘を振り返り、出土遺物と当時の調査風景写真を紹介した。

令和4年度 南島原市・西南学院大学博物館相互貸借展示

# ロマンを掘る

1992▶原城跡発掘調査展▶2022

**出張！有馬キリシタン遺産記念館 企画展**

2022. 11.11 [Fri.] – 2023. 3月下旬

会場：西南学院大学博物館 南島原展示ブース

平成4年度（1992年）より開始された原城跡の発掘調査は今年で30年を迎えます。現在に続く原城跡発掘を振り返り、出土遺物と当時の調査風景写真を紹介します。史料からは知ることのできない島原・天草一揆の実像を明らかにした発掘調査は、壮大なロマンに夢を膨らませた記録なのです。

他にも原城跡に関する資料は有馬キリシタン遺産記念館で展示中！

南島原市有馬キリシタン遺産記念館  
Miramishimabarashi Arima Christian Heritage Museum  
〒859-2412 長崎県南島原市有馬町乙1395  
Tel.0957-85-3217/FAX:0957-85-3217  
mail: arimamuseum3217@gmail.com  
開館時間：9:00～18:00 休館日：毎週木曜日  
入館料：一般300円・高校生200円・小中学生150円

SNSで情報発信中！  
記念館 Instagram 記念館 Twitter



# 令和4年度相互貸借特集展示Ⅲ 「原城発掘調査展Ⅱ モノ語る」実施報告

会期：2023年3月16日(木)～6月下旬

会場：西南学院大学博物館 1階常設展示室 南島原市展示ブース

主催：南島原市教育委員会

平成4年度(1992年)から30年間にわたる原城跡発掘調査の結果、十字架やメダイといったキリシタン出土遺物だけではなく、茶碗や小杯といった日用品が出土した。それはかつて島原半島に暮らした人々の営みと歴史がつまった出土品であり、当時の生活文化が垣間見える発見となった。

本展示では、島原半島内の生活文化を物語る原城跡出土遺物を展示し、紹介した。



## 2. 教育・研究活動

### 博物館実習

#### 実習概要

2022年度は実習生3名を受け入れ、2022年9月17日(土)から2023年1月14日(土)まで、計8日間の博物館実習を実施した。初日は、午前に施設案内および基礎学習となるオリエンテーションを行い、午後は企画展(博物館実習成果展)の展示計画および企画書の作成を課題とした。実習2日目からは企画展準備作業を指導し(実習4日目のみ日本通運スタッフによる梱包実習を実施)、実習7日目は企画展の設営を行った。博物館1階常設展示室を会場とし、資料の梱包、搬出、搬入、造作等を学芸員指導のもとに行い、設営を完了させた。実習8日目(最終日)は、企画展の撤収を行った。設営のときと同様に、資料の梱包から搬出入、後片付けを行い、博物館業務における企画展の一連の作業を終了した。

#### 【2022年度博物館実習生】

岩本 願(神学部神学科)

藤野里佳子(文学部英文学科)

宮本 あや(国際文化学部国際文化学科)

#### 【実習風景】



## 西南学院大学博物館博物館実習スケジュール2022

実習担当：下園知弥(博物館教員)

実習日程：9月17日(土)、9月24日(土)、10月8日(土)、10月15日(土)、10月29日(土)、11月5日(土)、  
11月19日(土)、1月14日(土) 計8回

	9月17日(土)		9月24日(土)		10月8日(土)		10月15日(土)	
午前	10:00	大学博物館集合	10:00	百年館3階集合	10:00	百年館3階集合	10:00	百年館3階集合
	10:10	オリエンテーション	10:10	企画展案決定	10:10	企画展作業②	10:10	梱包実習 *日本通運指導
午後	昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)	
	13:00	企画展考案	13:00	進捗報告	13:00	進捗報告	13:00	進捗報告
	16:00	企画会議	13:30	企画展作業①	13:30	企画展作業③		梱包実習 *日本通運指導
			17:00	進捗報告	17:00	進捗報告	17:00	進捗報告
	17:10	実習日誌作成	17:10	実習日誌作成	17:10	実習日誌作成	17:10	実習日誌作成
	17:30	解散	17:30	解散	17:30	解散	17:30	解散

	10月29日(土)		11月5日(土)		11月19日(土)		1月14日(土)	
午前	10:00	百年館3階集合	10:00	百年館3階集合	10:00	大学博物館集合	10:00	大学博物館集合
	10:10	企画展作業④	10:10	企画展作業⑥	10:10	企画展設置準備	10:10	企画展撤収
午後	昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)	
	13:00	企画展作業⑤	13:00	企画展作業⑦	13:00	企画展設置	13:00	反省会
			15:00		15:00		14:30	実習日誌作成
	17:00	進捗報告	17:00	設置完了	17:00	設置完了	15:00	解散
	17:10	実習日誌作成	17:10	実習日誌作成	17:10	実習日誌作成		
	17:30	解散	17:30	解散	17:30	解散		

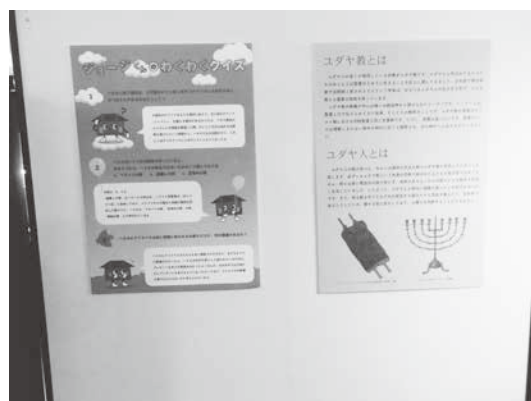
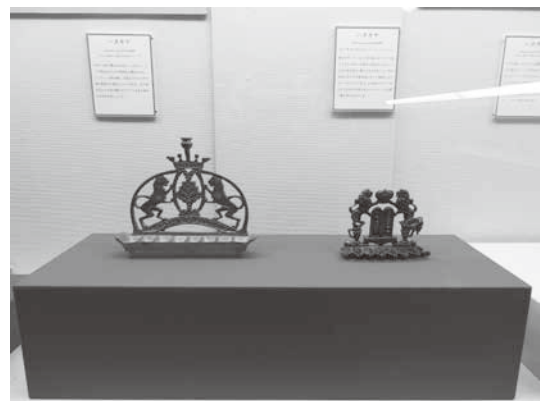


# 2022年度博物館実習成果展 「神殿奉献祭 (ハヌカ) —ユダヤ教の光の祭り—」実施報告

会期：2022年11月19日 (土) ~ 2023年 1月13日 (金)

会場：西南学院大学博物館 1階常設展示室

2022年度博物館実習成果展では、西南学院大学博物館が所蔵する資料を実習生が選別し、常設展示室内で企画展示を行った。実習生自ら、テーマを設定し、開催概要、キャプション、解説パネル、ポスター等の作成を行った。クリスマスシーズンという時期設定は博物館が指定したが、それ以外はすべて実習生の自主的な活動で立案・実施された。



## 【開催概要】

神殿奉献祭とは、ユダヤ教の歴史上の出来事に由来する冬の祝祭です。ユダヤ暦でキスレヴと呼ばれる月からその次の月にかけて8日間行われます。キスレヴは西暦で表すとちょうど本展覧会が開催される11月から12月にあたります。この祭りは紀元前2世紀に、異教徒に穢されたエルサレムの神殿を奪還したことを記念しています。そのため「献納」や「奉献」、「落成」を意味する「ハヌカ」と呼ばれているのです。また、神殿を解放した際に灯した1日分の油が8日間燃え続けたという奇跡から、ハヌカには「光の祭り」という別名もあります。

本展では、当館所蔵のコレクションの中からハヌカに関わる資料を展示し、解説とともにご紹介します。普段は中々触れることのできないユダヤ教の生活と文化に出会い、理解を深める機会になれば幸いです。

※本展は2022年度西南学院大学博物館実習生による展示です。

## 【展示資料】

1. ハヌキヤ  
20世紀／金属製／西南学院大学博物館蔵
2. ハヌキヤ  
20世紀／鉄製／西南学院大学博物館蔵
3. ハヌキヤ  
19世紀／青銅製／西南学院大学博物館蔵
4. ハヌキヤ  
20世紀／金属製・ガラス製／西南学院大学博物館蔵
5. ハヌキヤ  
20世紀／金属製／西南学院大学博物館蔵
6. ハヌカ・コマ  
20世紀／銀製／西南学院大学博物館蔵
7. ハヌカ・コマ  
20世紀／陶製／西南学院大学博物館蔵

## 2022年度せいなんワークショップ概要

2022年度は新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑みつつ、感染対策を行ったうえで対面型のワークショップを再開した。しかしながら、感染が拡大した夏休みは大学内での対面開催を中止せざるを得ない状況となり、代わりに展覧会関連情報のSNS投稿による教育活動の拡充を行った。2021年度に開設したYoutubeチャンネルには、各展覧会の解説動画や、博物館2階講堂のガイドツアー動画を投稿した。

### ▶せいなんワークショップ

#### ①考古学体験！拓本をとってみよう

日時：2022年5月14日（土） 14:00～16:00

会場：西南コミュニティーセンター2階会議室

土器の使用法や模様の付け方について簡単な解説を行った後、好きな縄文土器片を選び、拓本を取った。また、縄文土器片について観察を行ったうえで、模様の特徴などを調査カードに記入し、拓本を貼り付けた。調査カードはエントランスに2か月間展示した。



#### ②活版印刷機で印刷体験！（常設型）

期間：2022年6月6日（月）～8月8日（月）

会場：西南学院大学博物館1階廊下

企画展「印刷文化の黎明—インキュナブラからキリシタン版まで—」の関連ワークショップとして、展覧会期間中に毎日開催した。活版印刷機の簡単な解説や、展覧会資料として出品していたキリシタン版『サントスのご作業の内抜書』について簡単に解説を行い、その後その扉絵を印刷した。ワークショップで使用した活版印刷機は、福岡県福岡市の活版印刷会社・文林堂よりお借りしていたものである。



### ③ ジョージくんからの挑戦状！(常設型)

期間：2022年9月19日(月)～2023年1月14日(土)

会場：西南学院大学博物館1階特別展示室

企画展「キリスト教美術をみとくーキリスト・聖母・聖人ー」の関連ワークショップとして開催した。企画展を見ながら回答することのできる、キリスト教美術にまつわるナゾを解くワークシート(2種類)を配布した。回答後のワークシートには事務室にてスタンプを押して、景品(ペーパーファイル)と交換した。



### ④ クリスマスツリーをかざろう(常設型)

期間：2022年11月21日(月)～12月27日(火)

会場：西南学院大学博物館1階エントランス

エントランスに設置したクリスマスツリーのボードに、ペンやマスキングテープで自由にデコレーションしたオーナメントを飾り付けた。

本ワークショップは、2016年度より毎年クリスマスシーズンに行っている常設型ワークショップである。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2020年度・2021年度は休止していたが、2022年度より再開した。



### ⑤ 聖書植物で押し花しおりを作ろう！

日時：2023年3月30日(木) 14:00～16:00

会場：西南コミュニティーセンター2階会議室

テーマ展示「聖書植物園のあゆみ」の関連ワークショップとして開催した。はじめに、大学博物館の周りに植わっている聖書植物「イナゴマメ」「アネモネ」について、実際に植物を見ながら解説を行った。その後、聖書植物の押し花を使って、しおりを2つ制作した。





▶せいなんおでかけワークショップ

日時：2022年8月17日（水） 14:00～16:00

会場：長崎県南島原市原城図書館

産官学連携を行っている長崎県南島原市で行った出張ワークショップである。新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020年度より中止していたため、2年ぶりに開催した。土器やはにわについて学んだあと、テラコッタねんどを使用して作品づくりを行った。



▶Youtube (西南学院大学博物館チャンネル)

①ジョージくんミュージアムガイド「創られたキリシタン像（イメージ） 排耶書と実録のなかのキリシタン」編

公開：2022年4月18日（月）

2021年度企画展「創られたキリシタン像（イメージ）：排耶書と実録のなかのキリシタン」のミュージアムガイド。展示担当者の監修のもと制作した。解説は西南学院大学博物館のマスコットキャラクター「ジョージくん」が担当。なお、本動画より、字幕にあわせてナレーション音声を追加した。



②ジョージくんミュージアムガイド「印刷文化の黎明—インキュナブラからキリシタン版まで—」編

公開：2022年7月25日（月）

2022年度企画展「印刷文化の黎明—インキュナブラからキリシタン版まで—」のミュージアムガイド。展示担当者の監修のもと制作した。



③ジョージくんミュージアムガイド「キリスト教美術をみとくーキリスト・聖母・聖人ー」編  
公開：2022年11月18日（金）

2022年度企画展「キリスト教美術をみとくーキリスト・聖母・聖人ー」のミュージアムガイド。展示担当者の監修のもと制作した。本動画では、展示資料の解説だけではなく、解説の合間にジョージくんよりクイズを出題するコーナーを設けた。



③西南学院大学博物館講堂ガイドツアー  
公開：2023年2月5日（日）

西南学院の本館として1921(大正10)年に竣工された3階建ての赤レンガの建物は、福岡県指定有形文化財でもある。以前は自由に講堂(2・3階)の見学をおこなえたが、現在は一般の方の立ち入りをお断りしているため、講堂の雰囲気を経験しながら建物の歴史について知っていただくために制作した。



④ジョージくんミュージアムガイド「掘り出された祈りー考古学からみた筑前・筑後のキリシタンー」編  
公開：2023年2月27日（月）

2022年度特別展「掘り出された祈りー考古学からみた筑前・筑後のキリシタンー」のミュージアムガイド。展示担当者の監修のもと制作した。本動画では、展覧会担当者とジョージくんが掛け合いをしながら展覧会資料を解説するという新しい試みを行った。



▶Twitter (@seinan\_museum)

①聖書植物園ツアー

期間：2022年4月20日(水)～2023年3月3日(金)

不定期 全11回

西南学院大学聖書植物園の聖書植物の様子を発信。2021年の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館中から開始したもので、2022年度も引き続き不定期で投稿を行った。



②ジョージくんからの挑戦状

期間：2022年9月27日(火)～2023年3月3日(金)

不定期 全6回

2022年度企画展「キリスト教美術をみとくーキリスト・聖母・聖人ー」に関連して行った投稿。資料解説を行い、資料に描かれた場面についてのクイズを投稿。参加者はTwitterのアンケート機能で回答を選択し、数時間後にクイズの解答を投稿した。



②「掘り出された祈り」資料紹介

期間：2023年1月28日(土)～3月11日(土)

毎週土曜日 全7回

2022年度特別展「掘り出された祈りー考古学からみた筑前・筑後のキリシタンー」の展示資料紹介。会期中、毎週土曜日に投稿。Instagramでも同内容を同日掲載した。





▶Instagram (@seinan\_museum)

期間：2023年1月28日(土)～3月11日(土) 毎週土曜日 全7回

2022年度特別展「掘り出された祈り—考古学からみた筑前・筑後のキリシタン—」の展示資料紹介。会期中、毎週土曜日に投稿した。Twitterと同内容のものに、ハッシュタグを追加して掲載した。





# 博物館刊行物・成果物

## 2022年度 西南学院大学 博物館特別展図録

B5判変型  
64頁  
2023年1月23日刊行  
編者 鬼東芽依  
出版 花乱社



目次

ご挨拶

西南学院大学博物館館長 伊藤慎二…………… 2

開催概要／謝辞／凡例…………… 4

はじめに キリシタン時代を「見る」：キリシタン考古学の世界…………… 5

I キリスト教のおとずれ…………… 6

大友義鎮と開教…………… 9

キリシタン墓地の設置…………… 11

【コラム】開発・祖霊・婚養子 残されたキリシタン墓地  
臼杵市教育委員会文化・文化財課課長 神田高士…………… 13

II 筑前・筑後におけるキリスト教の伝播…………… 16

筑前博多…………… 18

筑前黒崎…………… 24

筑前大野…………… 25

筑前秋月…………… 27

筑後久留米…………… 29

筑前・筑後におけるキリシタンの衰退…………… 33

III 島原・天草一揆 受難へ

【コラム】原城跡 南島原市教育委員会世界遺産推進室室長 松本慎二…………… 44

【コラム】千々石ミゲルと伊木力墓所 元長崎歴史文化博物館 大石一久…………… 46

出品目録…………… 48

論考

北部九州の潜伏キリシタンとその信仰復活期の墓地  
西南学院大学博物館館長 伊藤慎二…………… 50

キリシタン墓碑の花十字文とその寸法  
糸島市地域振興部文化課 秋田雄也…………… 54

大野城市瑞穂遺跡出土の「十字架」と「数珠玉」についての検討  
西南学院大学博物館学芸研究員 鬼東芽依…………… 58

参考文献 62／Abstract 63

## 2022年度 西南学院大学 博物館企画展 I 図録

A5判変型  
48頁  
2022年6月6日刊行  
編者 下園知弥  
勝野みずほ  
出版 花乱社



目次

ごあいさつ

西南学院大学博物館館長 伊藤慎二…………… 2

開催概要・凡例…………… 4

第1章 写本から印刷本へ…………… 5

【トピック】「印刷革命」以後の写本たち  
西南学院大学博物館教員 下園知弥…………… 18

第2章 印刷都市の拡大…………… 19

第1節 Nürnberg…………… 21

第2節 Venezia…………… 27

【トピック】黎明期の「書籍市場」  
西南学院大学博物館学芸調査員 勝野みずほ…………… 32

第3章 日本伝来…………… 33

【トピック】日本における木版印刷：奈良時代から江戸時代まで  
西南学院大学博物館学芸研究員 鬼東芽依…………… 40

参考文献他…………… 41

出品目録…………… 42

寄稿 歴史を歩んだ「活字文化」：活版印刷の現場から  
文林堂店主 山田善之…………… 44

2022年度  
西南学院大学博物館  
企画展Ⅱ図録

A5判変型  
48頁  
2022年9月19日  
編者 山尾彩香  
出版 花乱社



ごあいさつ  
西南学院大学博物館館長 伊藤慎二 ..... 2  
開催概要／凡例／書名略 ..... 4

第Ⅰ章 イエス・キリスト ..... 5  
はじめに 6／イエス・キリスト 7／イエス・キリストの生涯 8  
降誕 10／東方三博士の礼拝(マギの礼拝) 11／洗礼・誘惑 12  
カナの婚宴・ラザロの蘇生 13／最後の晩餐 14  
ゲツセマネの祈り(オリブ山での祈り) 15／受難 16  
磔刑 18／復活 19／昇天・聖霊降臨 20

第Ⅱ章 聖母マリア ..... 21  
聖母マリアの生涯 22／マリアの誕生 24／結婚 25  
受胎告知 26／エリサベト訪問 28／神殿奉献 29  
悲しみの聖母 30／聖母の被昇天 32  
聖母の戴冠 33／無原罪の御宿り 34／聖母子 36

第Ⅲ章 諸聖人 ..... 36  
福音書記者 —マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ— 38  
使徒 —ペトロ、アンデレ— 40  
聖人 —ゲオルギウス、フランシスコ・ザビエル— 42  
さいごに 44

主要参考文献 45／資料目録 46

西南学院大学博物館・  
西南学院史資料センター  
連携企画展図録

A4判  
24頁  
2023年3月1日発行  
編者 下園知弥  
宮川由衣  
印刷 インテックス福岡



目次

ごあいさつ／開催概要／目次／凡例 ..... 2

第1章 神学部の成立と歩み ..... 3  
【コラム】神学科の分離と復活 西南学院史資料センターアーキビスト  
宮川由衣 ..... 16

第2章 現在の神学部教育  
【コラム】関谷コレクション 西南学院大学博物館学芸調査員 栗田りな  
西南学院大学博物館教員 下園知弥 ..... 23  
【解説】キリスト教人文学コースの記憶 西南学院大学博物館教員  
下園知弥 ..... 24

出品目録

西南学院大学  
博物館研究紀要  
第11号

A4判  
107頁  
2023年3月20日発行  
印刷 大同印刷



目次

一論文一

- 「研究室訪問シリーズ」の成果と課題  
—大学博物館と大学教員の連携のかたちをめぐって—  
下園 知弥…………… 3
- 近世日本社会におけるフラスコ形ワインボトル流通状況についての再検討  
鬼東 芽依…………… 17

一研究ノート一

- 高取焼東皿山窯跡推定地付近採集資料の検討  
田中 康裕  
伊藤 慎二…………… 51

一資料紹介一

- ケルムスコット・プレス刊本『聖処女マリア讃歌』  
下園 知弥  
勝野みずほ…………… 59

西南学院大学  
博物館年報  
第14号

A4判  
59頁  
2022年8月1日発行  
印刷 インテックス福岡



目次

巻頭言

2021年度事業報告

1. 展示活動
- 1.1 西南学院大学博物館主催の展示活動
- 2021年度特別展I「長崎口と和華蘭文化—異文化のさざ波—」実施報告… 5
- 2021年度特別展II  
「宣教師とキリシタン—靈性と聖像のかたちを辿って—」実施報告… 8
- 2021年度企画展I  
「ジュダイカ・コレクション ユダヤ教の祝祭」実施報告 …… 13
- 2021年度企画展II  
「創られたキリシタン像(イメージ)  
—排耶書と実録のなかのキリシタン—」実施報告 …… 17
- 常設展示室テーマ展示「聖書の写本と印刷本」実施報告 …… 21
- 常設展示室博物館ニュース展示 実施報告…………… 22
- 1.2 共同・連携事業による展示活動
- 【南島原市】  
産官学連携サテライト展示・相互貸借特集展示 実施報告…………… 23
2. 教育・研究活動
- 博物館実習…………… 27
- 2021年度博物館実習成果展…………… 29
- せいなんワークショップ概要…………… 31
- 博物館刊行物・成果物…………… 34
- 博物館教職員活動記録…………… 37
3. 来館者動向
- 来館者統計…………… 40
- 特別展期間中来館者動向…………… 41
- 来館団体一覧…………… 42
- 博物館講堂使用状況…………… 42
4. その他
- メディア掲載一覧…………… 43
- 寄贈図書一覧…………… 43
- 博物館規程…………… 48
- 西南学院大学博物館組織…………… 59

テーマ展示リーフレット

【3000部発行 発行日2023年3月14日】



A4判4ページ  
編者 栗田りな・勝野みずほ

博物館ニュース Volume 45

【1500部発行 発行日2022年5月15日】



所蔵品紹介「十字文鐸」  
大学博物館のお仕事①「大学博物館ってなに？」  
博物館通信：博物館ドージャー記念室ニュース展示 ほかに  
展覧会紹介：創られたキリシタン像  
展覧会紹介：印刷文化の黎明

博物館ニュース Volume 46

【1500部発行 発行日2022年9月15日】



所蔵品紹介「ジンボトル (天保四年箱付き)」  
大学博物館のお仕事②「大学博物館で働く人—学芸調査員編—」  
博物館通信：産官学連携サテライト展示 ほかに  
展覧会紹介：キリスト教美術をみとく

博物館ニュース Volume 47

【1500部発行 発行日2022年12月15日】



所蔵品紹介「エルサレムスカヤの聖母」  
大学博物館のお仕事③「大学博物館で働く人—学芸員編—」  
博物館通信：博物館常設展ニュース展示 ほかに  
展覧会紹介：Hanukkah 神殿奉献祭  
展覧会紹介：掘り出された祈り



## 2022年度 博物館教職員活動記録

**伊藤慎二** (本学博物館長・国際文化学部教授)

### 【著書・編書】

- ・「北部九州の潜伏キリシタンとその信仰復活期の墓地」(鬼束芽依編『考古学からみた筑前・筑後のキリシタン：掘り出された祈り』花乱社、2023年1月)

### 【論文ほか】

- ・「高取焼東皿山窯跡推定地付近採集資料の検討」(※田中康裕と共著)(『西南学院大学博物館研究紀要』第11号、2023年3月)
- ・「痕跡と証言：調査研究・教育対象としてのナチスのハルトハイム安楽死施設出土考古資料」(※シモーネ＝ロイストル・フロリアン＝シュヴァニンガー共著、山本恵梨・相江なぎさ・田中康裕と共訳)(『西南学院大学国際文化論集』第37巻2号、2023年3月)

### 【学会発表】

- ・「北部九州の潜伏キリシタンとその信仰復活期の墓地」(西南学院大学特別展関連公開シンポジウム「考古学からみた九州の地域社会とキリシタン」、2023年2月25日)
- ・「馬渡島(佐賀県唐津市鎮西町)田尻地区における潜伏キリシタン期～カトリック復活期初期の墓地の発見について(速報)」(※渡邊秀一・牧山和人と共同発表)(西南学院大学特別展関連公開シンポジウム「考古学からみた九州の地域社会とキリシタン」、2023年2月25日)

### 【報道・社会貢献活動等】

- ・法政大学沖縄沖縄文化研究所国内研究員(2012年4月1日～)
- ・福岡市博物館資料収集委員(2021年1月1日～)
- ・沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科集中講義「考古学特殊講義Ⅱ」講師(2022年8月29日～9月2日)
- ・福岡女学院大学人文学部メディア・コミュニケーション学科「福岡女学院(薬院時代)の戦争遺跡をフィールドワークする」講師(2023年2月8日)
- ・「元寇防塁 東西20キロ博多湾岸の石壁 高麗の経験から着想得たか(気ままに時間旅行⑥)」(『西日本新聞』2023年2月15日(水)朝刊23頁)(※取材協力)
- ・「佐賀・馬渡島で潜伏期の墓か 下藤墓地(大分)、原城跡(長崎)も紹介：西南学院大でキリシタン遺構シンポ」(『西日本新聞』2023年2月27日朝刊19頁)(※取材協力)
- ・「潜伏キリシタンの墓？遺構発見」『佐賀新聞』(2023年3月2日朝刊18頁)(※取材協力)

**下園知弥** (本学博物館教員(助教)・学芸員)

### 【著書・編書】

- ・『印刷文化の黎明：インキュナブラからキリシタン版まで』(勝野みずほと共編)(花乱社、2022年6月)
- ・『学院史のなかの神学部：成立と歩み、そして現在』(宮川由衣と共編)(西南学院大学博物館・西南学院史資料センター、2023年3月)

### 【論文】

- ・『研究室訪問シリーズ』の成果と課題：大学博物館と大学教員の連携のかたちをめぐって」(『西南



学院大学博物館研究紀要』第11号、2023年3月)

- ・「ケルムスコット・プレス刊本『聖処女マリア讃歌』」(勝野みずほと共著)(『西南学院大学博物館研究紀要』第11号、西南学院大学博物館、2023年3月)

### 【学会発表】

- ・「キリスト教展示の現状と課題：諸教会の文化をいかに展示するか？」(「国際研究フォーラム『ミュージアムでみせる宗教文化』」、國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所、2022年12月11日)
- ・「20世紀フィンランドにおけるイコン・リヴァイヴァルの諸相」(「日本基督教学会九州支部会」、2023年3月24日)

### 【解説】

- ・「『印刷革命』以後の写本たち」(下園知弥・勝野みずほ編『印刷文化の黎明：インキュナブラからキリシタン版まで』、花乱社、2022年6月)
- ・「エルサレムスカヤの聖母(所蔵品紹介)」(『西南学院大学博物館ニュース』Vol.47、西南学院大学博物館、2022年12月)
- ・「禁教の『リアル』に接近するために」(南島原市教育委員会編『Real：有馬領内と島原・天草一揆』、南島原市教育委員会、2023年1月)
- ・「キリスト教人文学コースの記憶」(下園知弥・宮川由衣編『学院史のなかの神学部：成立と歩み、そして現在』、西南学院大学博物館・西南学院史資料センター、2023年3月)
- ・「関谷コレクション」(栗田りなと共著)(下園知弥・宮川由衣編『学院史のなかの神学部：成立と歩み、そして現在』、西南学院大学博物館・西南学院史資料センター、2023年3月)

### 【講座】

- ・西南コミュニティーカレッジ「フィンランド美術史への招待」(西南学院大学博物館、2022年7月1日～7月29日)
- ・スタジオポンテ特別レクチャー「中世の写本を見ながら書体の歴史をたどる旅：カロリング小文字体からゴシック体へと変わる時」(スタジオポンテ、2022年7月31日)
- ・西南コミュニティーカレッジ「博物館資料で学ぶキリスト教」(西南学院大学博物館、2022年10月14日～11月11日)
- ・西南コミュニティーカレッジ「ミュージアムを楽しもう！」第2回「ミュージアムの楽しみ方(九州外編)」(西南学院大学コミュニティセンター、2022年11月25日)

**山尾彩香** (本学博物館学芸研究員・本学非常勤講師)

### 【著書・編書】

- ・『キリスト教美術をみとく：イエス・キリスト、聖母マリア、諸聖人』(西南学院大学博物館、2022年9月)

### 【講座】

- ・西南コミュニティーカレッジ「ミュージアムを楽しもう！」第5回「西南学院大学博物館を楽しもう！」(西南学院大学コミュニティセンター、2022年12月16日)
- ・「キリスト教美術をみとく」(西南学院大学チャペルアワー講話、2022年12月)

**鬼束芽依** (本学博物館学芸研究員・本学非常勤講師)

**【著書・編書】**

- ・『考古学からみた筑前・筑後のキリシタン：掘り出された祈り』（花乱社、2023年1月）

**【論文】**

- ・「大野城市瑞穂遺跡出土の『十字架』と『数珠玉』についての検討」（鬼束芽依編『考古学からみた筑前・筑後のキリシタン：掘り出された祈り』、花乱社、2023年1月）
- ・「近世日本社会におけるフラスコ形ワインボトル流通状況についての再検討」（『西南学院大学博物館研究紀要』第11号、2023年3月）
- ・「コンプラ瓶の成立過程についての一考察：フラスコ形ワインボトルとコンプラ瓶の比較研究を通して」（『江戸遺跡研究』第10号、2023年3月）

**【解説】**

- ・「異国を知る：海外早わかり！ 江戸時代の『異国』解説書たち」（2022年度西南学院大学博物館サテライト展示Ⅰ解説リーフレット、2022年4月）
- ・「日本における木版印刷：奈良時代から江戸時代まで」（下園知弥・勝野みずほ編『印刷文化の黎明：インキュナブラからキリシタン版まで』、花乱社、2022年6月）
- ・「ジンボトル（天保四年箱付き）（収蔵品紹介）」（『西南学院大学博物館ニュース』Vol.46、西南学院大学博物館、2022年9月）
- ・「地図からみた16世紀～18世紀の肥前長崎」（南島原市教育委員会編『Real：有馬領内と島原・天草一揆』、南島原市教育委員会、2023年1月）

**【講座】**

- ・西南コミュニティーカレッジ「ミュージアムを楽しもう！」コーディネーター、第1回「ミュージアムの楽しみ方（九州内編）」講師（西南学院大学コミュニティセンター、2022年11月18日～12月16日）

**勝野みずほ** (本学博物館学芸調査員)

**【著書・編書】**

- ・『印刷文化の黎明：インキュナブラからキリシタン版まで』（下園知弥と共編）（花乱社、2022年6月）

**【論文】**

- ・「ケルムスコット・プレス刊本『聖処女マリア讃歌』」（下園知弥と共著）（『西南学院大学博物館研究紀要』第11号、西南学院大学博物館、2023年3月）

**山本恵梨** (本学博物館学芸調査員)

**【訳書】**

- ・シモーネ＝ロイストル・フロリアン＝シュヴァニンガー著「痕跡と証言：調査研究・教育対象としてのナチスのハルトハイム安楽死施設出土考古資料」（相江なぎさ・田中康祐・伊藤慎二と共訳）（『西南学院大学国際文化論集』第37巻2号、西南学院大学学術研究所、2023年3月）

**【解説】**

- ・「禁教期のキリスト教を語るマテリアル」（2022年度西南学院大学博物館サテライト展示Ⅱ解説リーフレット、2022年8月）

**相江なぎさ** (本学博物館学芸調査員)

**【訳書】**

- ・シモーネ＝ロイストル・フロリアン＝シュヴァニンガー著「痕跡と証言：調査研究・教育対象としてのナチスのハルトハイム安楽死施設出土考古資料」(山本恵梨・田中康祐・伊藤慎二と共訳) (『西南学院大学国際文化論集』第37巻2号、西南学院大学学術研究所、2023年3月)

**【解説】**

- ・「十字文罽(所蔵品紹介)」(『西南学院大学博物館ニュース Vol.45』西南学院大学博物館、2022年5月)

**栗田りな** (本学博物館学芸調査員)

**【解説】**

- ・「関谷コレクション」(下園知弥と共著)(下園知弥・宮川由衣編『学院史のなかの神学部：成立と歩み、そして現在』、西南学院大学博物館・西南学院史資料センター、2023年3月)
- ・「聖書植物園のあゆみ」(2022年度西南学院大学博物館テーマ展示解説リーフレット、2023年3月)

### 3. 来館者動向

#### 来館者統計

2022年度

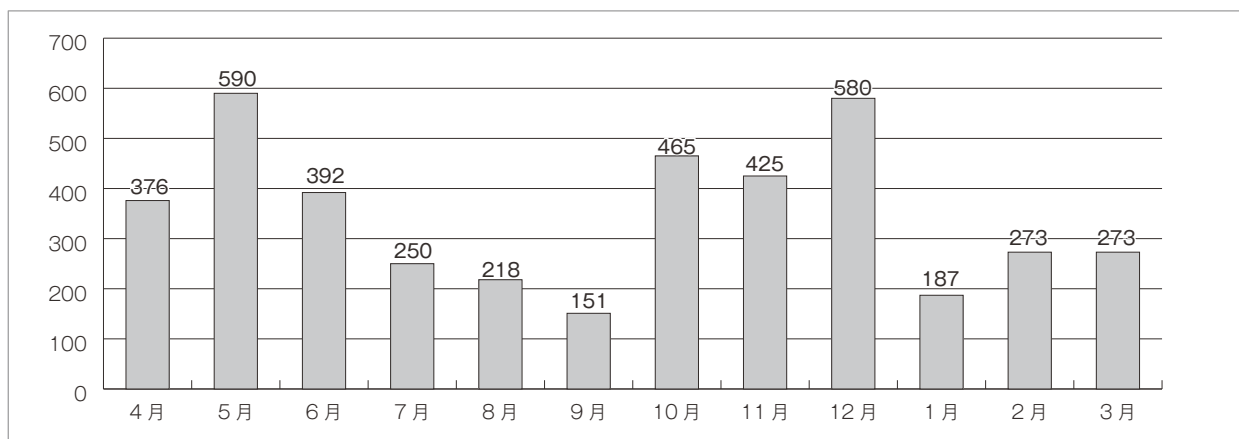
開館以来来館者数 171,661人  
 2022年度来館者数 4,180人  
 2006~2021年年度来館者数 168,703人  
前年度人数 3,165人 (前年度比 +132%)

#### 2022年度来館者統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数	26	26	22	26	21	22	26	26	23	15	24	26	283	
学内	教職員	4	24	18	4	7	2	11	7	10	0	6	9	102
	本学学生	202	162	256	70	13	28	284	201	13	40	13	9	1291
	学内小計	206	186	274	74	20	30	295	208	23	40	19	18	1393
	学外	大人(一般)	153	247	117	149	131	90	150	174	145	117	216	190
	他大学生	8	63	1	12	9	5	6	14	11	19	12	14	174
	高校生	2	0	0	1	40	12	7	3	0	7	6	1	79
	中学生	3	2	0	2	4	5	1	15	395	3	6	39	475
	小学生	1	87	0	10	8	5	1	7	2	1	8	4	134
	幼児	3	5	0	2	6	4	5	4	4	0	6	7	46
	学外小計	170	404	118	176	198	121	170	217	557	147	254	255	2787
	海外居住者	1	2	0	7	0	2	0	3	3	22	13	2	55
男女比	男性	122	162	83	100	84	62	125	95	68	79	123	120	1223
	女性	125	169	83	102	120	72	170	140	79	88	117	106	1371
	不明	129	259	226	48	14	17	170	190	433	20	33	47	1586
合計	376	590	392	250	218	151	465	425	580	187	273	273	4180	

#### 月別来館者数 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
376	590	392	250	218	151	465	425	580	187	273	273



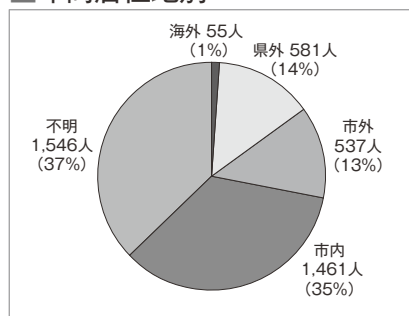
#### 月別開館日数 (単位：日)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	26	22	26	21	22	26	26	23	15	24	26	283

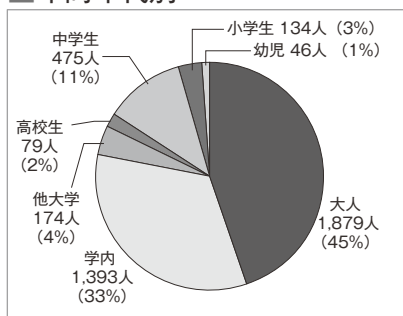
#### 月別1日あたり平均来館者数 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
14	22	17	9	10	6	17	16	25	12	11	10	14

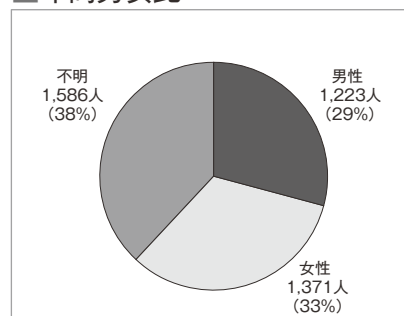
#### 年間居住地別



#### 年間年代別



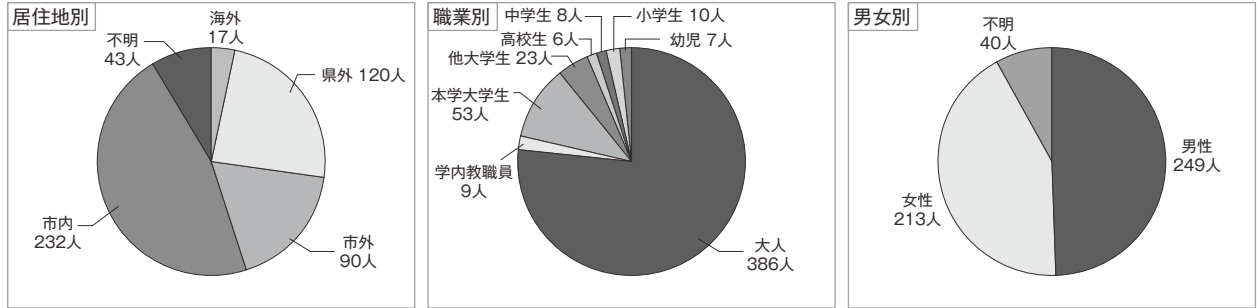
#### 年間男女比



## 特別展期間中来館者動向

### ■西南学院大学博物館2022年度秋季特別展「掘り出された祈り—考古学からみた筑前・筑後のキリシタン—」

開催期間：2023年1月23日～2023年3月11日 開催日数：41日 総来館者数：502人



	特別展	休館日	天気	市内	県内	国内	海外	不明	合計	男性	女性	不明	合計	学外一般	学内教職員	本学大学生	他大学生	高校生	中学生	小学生	幼児	合計	
23日	特別展		晴	7	4			3	14	10	4		14	11		3							14
24日	特別展			5	3	3			11	3	7	1	11	3		8							11
25日		休館日							0				0										0
26日	特別展		曇	5	2	2			9	3	6		9	1		8							9
27日	特別展		曇	10	3	3	3		19	9	10		19	8		10				1			19
28日	特別展		曇	7	1	3			11	9	2		11	9		1					1		11
29日		休館日							0				0										0
30日	特別展		晴	4		4			8	1	7		8	6		1	1						8
31日	特別展		晴	3	2	1		2	8	7	1		8	5		3							8
合計	7			41	15	16	3	5	80	42	37	1	80	43	0	34	1	0	1	1	0		80
1日	特別展		晴	1		1		5	7	2		5	7	4	2	1							7
2日	特別展		曇	3		2			5	1	1	3	5	5									5
3日	特別展		晴	5		2		1	8	2	6		8	8									8
4日	特別展		晴	9	6	4	1		20	8	12		20	13		1	1	2	1	1	1	1	20
5日		休館日							0				0										0
6日	特別展		曇	2	1	1		2	6	4	1	1	6	5			1						6
7日	特別展		晴			3			3		1	2	3	3									3
8日	特別展		晴	5	1	4	1		11	2	9		11	8						1		2	11
9日	特別展		曇	2	2				4	3	1		4	4									4
10日	特別展		雨	6	1	3		3	13	6	6	1	13	7	2	2	2						13
11日	特別展		曇	14	1	6		1	22	9	9	4	22	17							3	2	22
12日		休館日							0				0										0
13日	特別展		雨	1					1		1		1	1									1
14日	特別展		晴	5	5	3			13	8	5		13	12	1								13
15日	特別展		晴	3	1	1			5	4	1		5	3		2							5
16日	特別展		晴	4	1	2			7	3	4		7	5		1	1						7
17日	特別展		曇	2	2	2		2	8	3	5		8	8									8
18日	特別展		曇	8	3	4	0	11	26	12	14		26	21			1				3	1	26
19日		休館日							0				0										0
20日	特別展		晴	9		1	9		19	12	7		19	11			1	4	3				19
21日	特別展		曇	7	2	3		3	15	5	5	5	15	12		2	1						15
22日	特別展		晴	8	1	1			10	2	4	4	10	8		1	1						10
23日	特別展		曇	5	3	1		1	10	6	4		10	10									10
24日	特別展		曇	2	3	2		3	10	5	4	1	10	9		1							10
25日	特別展		曇	9	14	7		3	33	17	10	6	33	29		1	2			1			33
26日		休館日							0				0										0
27日	特別展		晴	3	2	1	2	0	8	3	5	0	8	6	1						1		8
28日	特別展		晴	4	1	4			9	6	2	1	9	7		1	1						9
合計	24			117	50	58	13	35	273	123	117	33	273	216	6	13	12	6	6	8	6		273
1日	特別展/企画展		雨	2	1	1			4	2	2		4	3			1						4
2日	特別展/企画展		晴	4	1	2	1	1	9	3	4	2	9	8			1						9
3日	特別展/企画展		晴	2		6			8	6	2		8	7			1						8
4日	特別展/企画展		晴	12	6	13		1	32	17	12	3	32	30	2								32
5日		休館日							0				0										0
6日	特別展/企画展		晴	15				1	16	3	13		16	14		2							16
7日	特別展/企画展		晴	6	1	7			14	13	1		14	9		1	4						14
8日	特別展/企画展		晴	6	3	1			10	6	4		10	10									10
9日	特別展/企画展		晴	9	3	4			16	8	8		16	12	1	3							16
10日	特別展/企画展		晴	6		2			8	5	2	1	8	7			1						8
11日	特別展/企画展		晴	12	10	10			32	21	11		32	27			2		1	1	1	1	32
合計	10			74	25	46	1	3	149	84	59	6	149	127	3	6	10	0	1	1	1	1	149
合計	41			232	90	120	17	43	502	249	213	40	502	386	9	53	23	6	8	10	7		502



## 2022年度来館団体一覧

期日	見学時間	団体名・使用目的	人数	備考
2022.4.21	—	キリスト教学	100	
2022.4.21	17:20-19:00	博物館展示論	30	
2022.4.25	15:00-16:40	博物館の世界	15	
2022.5.2	15:00-16:40	博物館の世界	15	
2022.5.9	15:00-16:40	博物館の世界	13	
2022.5.11	13:00-13:50	ドイツ語バイブルクラス	3	
2022.5.14	—	博多学	46	
2022.5.16	11:00-12:00	西南学院小学校	74	先生2名 児童72名
2022.5.18	9:20-10:00	児童教育学科 基礎演習	28	先生1名 学生27名
2022.5.19	14:20-14:40	宮崎ゼミ(2年生)	20	
2022.5.19	16:00-16:20	宮崎ゼミ(3年生)	10	
2022.5.27	—	スイミー学童保育	11	
2022.5.30	—	博物館の世界	13	
2022.6.6	—	博物館の世界	12	
2022.6.8	10:00-10:30	児童教育学科 基礎演習	27	先生1名 学生26名
2022.6.8	15:30-17:10	博物館資料論	20	
2022.6.9	—	国際文化西脇先生導入演習	15	
2022.6.9	—	博物館展示論	13	
2022.6.10	—	国際文化西脇先生導入演習	15	
2022.6.10	—	博物館展示論	13	
2022.6.15	8:50-10:30	キリスト教学I	50	
2022.6.20	15:00-16:40	博物館の世界	13	
2022.6.23	15:20-16:00	博物館教育論	25	
2022.6.29	10:10-11:00	倉元ゼミ(1年生)	26	
2022.7.16	—	学童保育スイミー	—	
2022.7.21	17:30-18:30	博物館展示論	28	
2022.7.28	17:00-18:00	国際文化学部ゼミ	6	
2022.10.7	11:00-12:00	宮崎ゼミ(1年生)	14	
2022.10.11	15:30-16:30	博物館の世界	6	
2022.10.14	10:40-11:40	西脇ゼミ	11	
2022.10.17	15:30-16:30	博物館の世界	5	
2022.10.20	9:20-10:20	キリスト教学II(宮平先生)	61	
2022.10.20	11:30-12:30	キリスト教学II(宮平先生)	41	
2022.10.24	16:00-17:00	博物館の世界	7	
2022.10.26	15:30-17:10	博物館情報・メディア論(下園先生)	16	
2022.10.27	17:20-19:00	博物館経営論(下園先生)	16	
2022.10.31	15:00-15:10	カセサート大学(タイ)	14	
2022.11.5	10:50-11:30	キリスト教学II(21)(徐先生)	44	
2022.11.07	8:50-10:30	西南学院史(山尾先生)	129	
2022.12.10	13:00-17:00	福岡県建築士会	35	
2022.12.13	9:00-9:43	西南学院中学校 聖書科	70	先生2名 学生68名
2022.12.15	—	西南学院中学校 聖書科	70	
2022.12.16	12:15-13:05	西南学院中学校 聖書科	80	
2022.12.16	13:15-14:05	西南学院中学校 聖書科	72	
2022.12.19	9:55-10:35	西南学院中学校 聖書科	34	
2022.12.19	13:15-14:05	西南学院中学校 聖書科	35	
2022.12.20	12:15-13:05	西南学院中学校 聖書科	36	
2022.12.21	—	培材(ベジュ)大学	23	
2022.3.6	—	福岡市美術館ガイドボランティア	—	
2023.3.16	11:00-11:30	西南学院中学校 音楽科	38	

## 4. その他

### 2022年度メディア掲載一覧 (TV、ラジオ、新聞、書籍、ネット記事等)

掲載日	媒体	タイトル	概要
2022年4月30日(土)	西日本新聞	「創られたキリシタン像」展 禁教時代のイメージに迫る 来月31日まで、西南学院大学博物館	企画展「創られたキリシタン像」の紹介
2022年7月31日(日)	LOVE FM	明治産業 presents (OUR CULTURE, OUR VIEW)	企画展「印刷文化の黎明」の紹介
2023年1月21日(土)	共同通信社 ほか転載メディア多数	福岡・両替町遺跡からロザリオ玉 キリシタン教会遺構	特別展「掘り出された祈り」に出品の「ロザリオ玉(久留米市教育委員会蔵)」紹介
2023年2月3日(金)	読売新聞	県内のキリスト教史料 福岡・西南大 出土品など紹介	特別展「掘り出された祈り」の紹介 *電子版にも掲載
2023年2月7日(火)	毎日新聞	キリシタン遺物展示 県内出土品など24点 西南大博物館	特別展「掘り出された祈り」の紹介 *電子版にも掲載
2023年2月10日(金)	RKBラジオ	Weekend Live あんたっちゃんぶる (あだちとらんち)	西南学院大学博物館の紹介
2023年2月12日(日)	西日本新聞	筑前・筑後 キリスト教浸透たどる 西南学院大博物館で特別展 初公開のロザリオ玉も	特別展「掘り出された祈り」の紹介 *電子版にも掲載

### 寄贈図書一覧

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
福岡市美術館	福岡市美術館 研究紀要 第10号	紀要	2022	福岡市美術館
九州産業大学美術館	2022年九州産業大学国際シンポジウム「博物館と医療・福祉のよりよい関係」	その他	2022	九州産業大学美術館
緒方泉	令和3年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」実施報告書	報告書	2022	九州産業大学美術館
長崎県南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第29集	報告書	2022	長崎県南島原市教育委員会
長崎県南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第30集	報告書	2022	長崎県南島原市教育委員会
東北大学総合学術博物館	Bulletin of the Tohoku University Museum No.21 2022	研究紀要	2022	東北大学総合学術博物館
東北大学学術資源研究公開センター総合学術博物館	歴史文化資料保存コーディネーター講座テキストブック	その他	2022	東北大学総合学術博物館
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館ニュース No.37	小冊子	2022	九州大学総合研究博物館
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館研究報告 第19号	報告書	2022	九州大学総合研究博物館
福岡市美術館	田部光子展「希望を捨てるわけにはいかない」"I can't Give Up Hope" The Art of Tabe Mitsuko	図録	2022	福岡市美術館
古都大宰府保存協会	都府楼 第53号	小冊子	2022	古都大宰府保存協会
佐賀県立九州陶磁文化館報	セラミック九州 No.58	小冊子	2022	佐賀県立九州陶磁文化館
ノースアジア大学雪国民俗館	雪国民族 第46号	小冊子	2022	ノースアジア大学雪国民俗館
広島大学総合博物館	総合博物館ニュースレター「HUM-HUM」vol.14-15	小冊子	2022	広島大学総合博物館
榎本寿紀	びじゅつって、すげえ！2021-2022 Vol.1 あれも、これも、どこでも美術。	小冊子	2022	公益財団法人分県芸術文化スポーツ振興財団
榎本寿紀	びじゅつって、すげえ！2021-2022 Vol.2 美術は広いな、大きいな。	小冊子	2022	公益財団法人分県芸術文化スポーツ振興財団
東北大学総合学術博物館	Omnividens 第66号	小冊子	2022	東北大学総合学術博物館
長崎県吉崎市教育委員会	カラカミ遺跡 総括編 I	報告書	2022	長崎県吉崎市教育委員会
長崎県吉崎市教育委員会	車出遺跡群1次(Ⅰ区・Ⅱ区)・久保頭古墳・双六古墳隣接地	報告書	2022	長崎県吉崎市教育委員会
高槻市街にぎわい部文化財課	高槻市文化財年報 令和2年度	年報	2022	高槻市街にぎわい部文化財課
帝京大学総合博物館	帝京大学総合博物館企画展 帝京大学創基90年記念—帝京ことはじめ—SINCE1931 帝京商業学校の物語	図録	2021	帝京大学総合博物館
学習院大学史料館	学習院大学史料館 ミュージアム・レター No.48	小冊子	2022	学習院大学史料館
九州歴史資料館	九歴だより No. 55	小冊子	2022	九州歴史資料館
久留米市文化財保護課・久留米文化財収蔵館	収蔵館ニュース 第18号	小冊子	2022	久留米市文化財保護課・久留米文化財収蔵館
関岡絵梨花	ちくごアートファーム計画2021 はらたくアート	図録	2022	ちくごアートファーム計画実行委員会
大分市歴史資料館	第39回特別展(令和3年度) 源氏物語と大友吉統	図録	2021	大分市歴史資料館

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュース Vol. 128	小冊子	2022	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュース Vol. 127	小冊子	2021	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュース Vol. 126	小冊子	2021	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュース Vol. 125	小冊子	2021	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュース Vol. 124	小冊子	2020	大分市歴史資料館
玉川大学教育博物館	博物館ニュース「SHŪ」NO. 58	小冊子	2022	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館 紀要 第19号	紀要	2022	玉川大学教育博物館
公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館	公益財団法人石橋財団マニュアル・レポート2021	その他	2022	公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館
公益財団法人 鶴島報友会	徴古館報 第41号	小冊子	2022	徴古館
美術史學會	美術史 第百九十二冊	紀要	2022	國學院大學博物館
鹿児島国際大学ミュージアム	鹿児島国際大学ミュージアム調査研究報告 第19集	報告書	2022	鹿児島国際大学ミュージアム
愛知大学東亜同文書院大学記念センター	同文書院記念法 Vol.30	紀要	2022	愛知大学東亜同文書院大学記念センター
愛知大学東亜同文書院大学記念センター	東亜同文書院記念基金ニュース 第21・22合併号	小冊子	2022	愛知大学東亜同文書院大学記念センター
ICOM-DRMC 2021実行委員会	ICOM-DRMC年次大会2021報告書	報告書	2022	日本博物館協会
新潟市歴史博物館	新潟市歴史博物館 博物館ニュース 帆樫成林 vol. 55	小冊子	2022	新潟市歴史博物館
帝京大学総合博物館	帝京大学総合博物館企画展 館報 第4号	館報	2022	帝京大学総合博物館
東北学院大学博物館	東北学院大学博物館 情報誌 OTAKUみゆーじあむ 2号	小冊子	2021	東北学院大学博物館
東北学院大学博物館	東北学院大学博物館 情報誌 OTAKUみゆーじあむ 3号	小冊子	2022	東北学院大学博物館
東北学院大学博物館	KOREMITE VOL.7 ー東北学院大学博物館 収蔵資料図録ー	図録	2022	東北学院大学博物館
明治大学博物館・南山大学人類学博物館	明治大学博物館+南山大学人類学博物館 合同シンポジウム報告書 2019-2020	報告書	2022	明治大学博物館
東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS 2022 No. 77	小冊子	2022	東京文化財研究所
宇美町教育委員会	川原田・供田遺跡群Ⅲ 一川原田・供田遺跡群 第3次発掘調査報告書一	報告書	2022	宇美町教育委員会
北九州市漫画ミュージアム	漫画新聞 Vol. 2	小冊子	2022	北九州市漫画ミュージアム
福岡市総合図書館	古文書だより 第1号	小冊子	2022	福岡市総合図書館
福岡市総合図書館	福岡市総合図書館 研究紀要 第22号	紀要	2022	福岡市総合図書館
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第96号	小冊子	2022	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター
南島原市教育委員会 世界遺産推進室	鈴木秀三郎コレクション I	図録	2022	南島原市教育委員会 世界遺産推進室
松戸市立博物館	松戸市立博物館友の会会報 第126号	小冊子	2022	松戸市立博物館
長崎歴史文化博物館	れきぶんNEWS NO.059 春号	小冊子	2022	長崎歴史文化博物館
坂口博・藤本久子	あしへい通信 第3号	小冊子	2022	火野葦平資料館
京都大学大学文書館	京都大学大学文書館だより 第42号	小冊子	2022	京都大学大学文書館
京都大学大学文書館研究紀要編集委員会	京都大学大学文書館研究紀要 第20号	紀要	2022	京都大学大学文書館
三原誠	筑後今村キリシタン覚書 汝等きりしたん二非ず	その他	1991	今村切支丹史料館
縄文遺跡群世界遺産本部	世界遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群	小冊子	2022	縄文遺跡群世界遺産本部
日本工業大学工業技術博物館	工業技術博物館ニュース No. 113	小冊子	2022	日本工業大学工業技術博物館
学習院大学史料館	学習院大学史料館紀要 第28号	紀要	2022	学習院大学史料館
八女市教育委員会	八女市遺跡群22 八女市文化財調査報告書 第132集	報告書	2022	八女市教育委員会
八女市教育委員会	木村・津狭間遺跡(第2~5次調査) 平田・備津町遺跡(第2次調査) 矢原遺跡群 八女市文化財調査報告書 第133集	報告書	2022	八女市教育委員会
八女市教育委員会	弥五郎遺跡2 八女市文化財調査報告書 第134集	報告書	2022	八女市教育委員会
八女市教育委員会	祈禱院・小石原遺跡1 八女市文化財調査報告書 第135集	報告書	2022	八女市教育委員会
八女市教育委員会	上小野遺跡第1次調査 八女市文化財調査報告書 第136集	報告書	2022	八女市教育委員会
八女市教育委員会	本村・溝狭間遺跡第6次調査 八女市文化財調査報告書 第137集	報告書	2022	八女市教育委員会
八女市教育委員会	本村・杉町遺跡1 八女市文化財調査報告書 第138集	報告書	2022	八女市教育委員会
長野県立歴史館	長野県立歴史館たより 夏号 vol.111	小冊子	2022	長野県立歴史館
長野県立歴史館	長野県立歴史館 研究紀要 第28号	紀要	2022	長野県立歴史館
大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館 研究紀要 22	紀要	2022	大分県立歴史博物館
大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館年報 2021	年報	2022	大分県立歴史博物館
帝塚山大学附属博物館	古瓦との出会いⅢ ~百済の古瓦~	小冊子	2022	帝塚山大学附属博物館
帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告 X XIV	報告書	2022	帝塚山大学考古学研究所
帝塚山大学附属博物館	帝塚山大学附属博物館報 X VII	年報	2022	帝塚山大学附属博物館
清水昭博	日本古代尼寺の考古学的研究	報告書	2022	帝塚山大学附属博物館
早稲田システム株式会社	MAPS press No.18	小冊子	2022	早稲田システム株式会社
大浦天主堂キリシタン博物館	大浦天主堂所蔵 ト・口版画及び版木の調査研究・保存修復事業 第一期報告書	報告書	2022	大浦天主堂キリシタン博物館

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
キリスト教学校教育同盟	キリスト教学校教育 7 (755号)	小冊子	2022	キリスト教学校教育同盟
熊本大学文書館	NEWS LETTER 2021年度報告 第2号	小冊子	2022	熊本大学文書館
大分県芸術文化スポーツ振興財団	大分県芸術文化スポーツ振興財団 季刊広報誌 2022 SUMMER vol.97	小冊子	2022	大分県芸術文化スポーツ振興財団
首藤光太郎・山田久恵	北海道大学総合博物館ニュース 第44号	小冊子	2022	北海道大学総合博物館
立命館大学国際平和ミュージアム	立命館大学国際平和ミュージアムだより Vol.30-1	小冊子	2022	立命館大学国際平和ミュージアム
大阪市博物館機構	OSAKA MUSEUMS vol.20	小冊子	2022	大阪市博物館機構
立正大学ロータスギャラリー特別展示室	ロータスギャラリー特別展示室だより No.1	小冊子	2022	立正大学ロータスギャラリー特別展示室
バプテスト心身障害児(者)を守る会	バプテスト心身障害児(者)を守る会「愛の手を」	小冊子	2022	バプテスト心身障害児(者)を守る会
東京大学史料編纂所付属画像史料解析センター (編集担当:荒木裕行・三島暁子)	東京大学史料編纂所付属画像史料解析センター通信 第97号	小冊子	2022	東京大学史料編纂所付属画像史料解析センター
独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター	文化財活用センター3周年記念 2021年度公開シンポジウム「ミュージアムをめぐるフアンダレイジング」報告書	報告書	2022	公益財団法人 日本博物館協会
北九州市漫画ミュージアム	北九州漫画ミュージアム 10年間の軌跡 開館10周年記念誌	その他	2022	北九州市漫画ミュージアム
大坂大谷大学博物館	博物館だより No. 133	小冊子	2022	大坂大谷大学博物館
国東市教育委員会	史跡安国寺集落遺跡再整備 (第1期) 事業報告書 大分県国東市文化財整備報告書 第4集	報告書	2022	国東市教育委員会
国東市教育委員会	円重寺遺跡一内田工場用適地造成に伴う発掘調査報告一 国東市文化財調査報告書 第1集	報告書	2022	国東市教育委員会
国東市教育委員会	岩戸寺遺跡 一之坊・中坊伝承地発掘調査報告書 国東市文化財調査報告書 第3集	報告書	2022	国東市教育委員会
旧唐津銀行(辰野金吾記念館)	「辰野金吾記念館」旧唐津銀行と辰野金吾 東京駅を創った唐津人	小冊子	2022	旧唐津銀行(辰野金吾記念館)
樋脇由利子・田原幸佑	田原家文書目録・写真目録(糟屋都須恵町)	その他	2022	樋脇由利子
火野葦平資料の会	あしへい通信 第4号	小冊子	2022	火野葦平資料の会
日本工業大学工業技術博物館	工業技術博物館ニュース No.114	小冊子	2022	日本工業大学工業技術博物館
福岡市博物館	令和元(2019)年度収集 収蔵品目録 37	目録	2022	福岡市博物館
福岡市博物館	福岡市博物館研究紀要 第31号	紀要	2022	福岡市博物館
福岡市博物館	特別展「徳川家康と歴代将軍～国宝・久能山東照宮の名宝～」	図録	2022	福岡市博物館
福岡市博物館	FACATA No.123	小冊子	2021	福岡市博物館
福岡市博物館	FACATA No.124	小冊子	2021	福岡市博物館
福岡市博物館	FACATA No.125	小冊子	2021	福岡市博物館
福岡市博物館	FACATA No.126	小冊子	2022	福岡市博物館
天草市立キリシタン資料館 天草キリシタン館	南蛮紀行 ポルトガル・スペイン・イタリアと天正遣欧使節	図録	2022	天草市立キリシタン資料館 天草キリシタン館
天草市立キリシタン資料館 天草キリシタン館	AMAKUSA CHRISTIAN MUSEUM	図録	2022	天草市立キリシタン資料館 天草キリシタン館
天草市立キリシタン資料館 天草キリシタン館	天草市立キリシタン資料館年報	年報	2022	天草市立キリシタン資料館 天草キリシタン館
帝国データバンク史料館	TEIKOKU DATABANK HISTORICAL MUSEUM MUSE vol.41	小冊子	2022	帝国データバンク史料館
新潟市歴史博物館	新潟市歴史博物館 博物館ニュース 帆樫成林 vol. 56	小冊子	2022	新潟市歴史博物館
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告B類歴史 第19号	報告書	2022	北九州市立自然史・歴史博物館
北九州市立自然史・歴史博物館、金石市世界遺産課、「明治日本の産業革命遺産」福岡県世界遺産連絡会議	官営八幡製鉄所開業120年 鉄の都ものがたり 金石と八幡一展示解説パンフレット	小冊子	2022	北九州市立自然史・歴史博物館
東田ミュージアムパーク実行委員会	北九州・産業都市の軌跡 展示解説シート	小冊子	2022	北九州市立自然史・歴史博物館
学習院大学史料館	学習院大学史料館 ミュージアム・レター No.49	小冊子	2022	学習院大学史料館
公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館	令和元年度 大分県立美術館年報	年報	2021	大分県立美術館
公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館	令和2年度 大分県立美術館年報	年報	2021	大分県立美術館
公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館	令和3年度 大分県立美術館年報	年報	2022	大分県立美術館
東北大学総合学術博物館	東北大学博物館 ニュースレター Omnividens No. 67	小冊子	2022	東北大学総合学術博物館
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館ニュース No.38	小冊子	2022	九州大学総合研究博物館
公益財団法人 日本海事科学復興財団 船の科学館	船の科学館海の学びミュージアムサポート 2023年度	小冊子	2022	公益財団法人 日本海事科学復興財団 船の科学館
西都原考古博物館	西都原考古博物館年報 2021(令和3)年度	年報	2022	西都原考古博物館
九州歴史資料館	九歴だより No.56	小冊子	2022	九州歴史資料館
昭和女子大学光葉博物館	昭和女子大学光葉博物館コレクション 日本の郷土玩具Ⅳ―車偶庵コレクション―	図録	2022	昭和女子大学光葉博物館
昭和女子大学光葉博物館	沖縄の民具・工芸にふるさとを想う―川平朝清の沖縄―	図録	2022	昭和女子大学光葉博物館
上野原縄文の森	上野原縄文の森だより 開園20周年記念号 2022.10 Vol. 43	小冊子	2022	上野原縄文の森
長崎歴史文化博物館	れきぶんNEWS NO.060 秋夏号	小冊子	2022	長崎歴史文化博物館
神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館専門員会	海事博物館研究年報 第49号	年報	2022	神戸大学海事博物館
立正大学博物館	立正大学博物館年報 20	年報	2022	立正大学博物館



著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
大分県芸術文化振興財団	大分県芸術文化スポーツ振興財団 季刊広報誌 vol. 98	小冊子	2022	大分県立芸術文化スポーツ振興財団
立命館大学国際平和ミュージアム	立命館大学国際平和ミュージアムだより Vol.30-2	小冊子	2022	立命館大学国際平和ミュージアム
長崎県志岐市教育委員会	志岐市文化財調査報告書 第35集「原の辻遺跡(不篠1092-5地点)ーガイダンス施設浄化槽設置に伴う事前調査ー」	その他	2022	長崎県志岐市教育委員会
東京大学史料編纂所附属画像資料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像資料解析センター通信 第98号	小冊子	2022	東京大学史料編纂所
福岡県立美術館	地方史ふくおか Vol.56 No.1 通巻第170号	小冊子	2022	福岡県立美術館
京都大学大学文書館	京都大学大学文書館だより 第43号	小冊子	2022	京都大学大学文書館
佐賀大学美術館	佐賀大学美術館 令和3年度 年報+紀要	年報・紀要	2022	佐賀大学美術館
朝倉市秋月博物館	秋月藩御用絵師 斎藤秋圃	図録	2022	朝倉市秋月博物館
学習院大学学芸員課程	学芸員 学習院大学学芸員課程 2022 No.26	小冊子	2022	学習院大学学芸員課程
八代市立博物館未来の森ミュージアム	町人と百姓の江戸時代	図録	2022	八代市立博物館未来の森ミュージアム
立正大学ロータスギャラリー特別展示室	立正大学のあゆみと石橋湛山	図録	2022	立正大学ロータスギャラリー特別展示室
東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS 2022 No. 78	小冊子	2022	東京文化財研究所
東京文化財研究所	2022独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所 概要	小冊子	2022	東京文化財研究所
福岡県立美術館	福岡県立美術館レター とつばらいと 124号	小冊子	2022	福岡県立美術館
武雄市図書館・歴史資料館	西九州新幹線開業記念特別企画展 新風颯走かもめ翔ぶ	図録	2022	武雄市図書館・歴史資料館
独立行政法人日本芸術文化振興会 日本博事務局	独立行政法人 日本芸術文化振興会 委託事業 令和3年度「日本博」開催に係る効果検証 報告書	報告書	2022	独立行政法人日本芸術文化振興会 日本博事務局
玉川大学教育博物館	博物館ニュース「SHU」 NO. 59	小冊子	2022	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館 館報 第20号 2021年度	その他	2022	玉川大学教育博物館
那珂川町馬頭広重美術館	企画展 浮世絵でわかる!忠臣蔵展	図録	2022	那珂川町馬頭広重美術館
公益財団法人石橋財団 アーティゾン美術館	公益財団法人石橋財団 アーティゾン美術館 ARTIZON MUSEUM 研究紀要 第3号 2022	紀要	2022	公益財団法人石橋財団 アーティゾン美術館
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書第344集 小郡若山遺跡9	報告書	2022	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書第345集 大保龍頭遺跡7	報告書	2022	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書第348集 小坂井屋敷遺跡9	報告書	2022	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書第349集 松崎六本松遺跡4	報告書	2022	小郡市教育委員会
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要 第41号	紀要	2022	南山大学人類学博物館
坂口博・藤本久子	あしへい通信 第5号	小冊子	2023	火野葦平資料館
苅田町教育委員会	平成31年度 苅田町文化財事業年報 まちの歴史6	年報	2022	苅田町教育委員会
苅田町教育委員会	苅田町文化財調査報告書 第48集 等覚寺の松絵・網打ち調査報告書ー町内無形民俗文化財伝承状況調査ー	報告書	2022	苅田町教育委員会
適塾記念会	適塾 No.55	その他	2022	大阪大学適塾記念センター
大分県芸術文化振興財団	総合文化センター 大分県立美術館 総合情報誌 99	小冊子	2022	大分県芸術文化振興財団
八女市岩戸山歴史文化交流館いわいの郷	八女市岩戸山歴史文化交流館「いわいの郷」年報6 ー令和3年度ー	年報	2022	八女市岩戸山歴史文化交流館いわいの郷
福岡市美術館	福岡市美術館ニュース「エスプラナード」210号	小冊子	2023	福岡市美術館
木島孝之	天正十四年 島津氏北進時の岩屋城・宝満城・立花山城合戦を再考する	紀要	2022	木島孝之
新潟市歴史博物館	にいがたの中世	図録	2022	新潟市歴史博物館
新潟市歴史博物館	大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念 6館リレー展 新潟市歴史博物館令和4年度企画展「大河津分水・関屋分水と新潟市展」	図録	2022	新潟市歴史博物館
新潟市歴史博物館	新潟市歴史博物館研究紀要 第18号	紀要	2022	新潟市歴史博物館
大分県立先哲史料館	史料館研究紀要 第27号	紀要	2022	大分県立先哲史料館
大分県立歴史博物館	令和4年度 特別展 宇佐神宮	図録	2022	大分県立歴史博物館
新潟市歴史博物館	新潟市歴史博物館 博物館ニュース 帆樫成林 vol. 57	小冊子	2022	新潟市歴史博物館
公益財団法人有馬記念館保存会	有馬記念館年報 第8号 令和3(2021)年度	年報	2022	有馬記念館
株式会社クマヒラ・ホールディングス	抜筆のつづり その八十二	その他	2023	株式会社クマヒラ・ホールディングス
早稲田システム株式会社	MAPS press No.19	小冊子	2023	早稲田システム株式会社
首藤光太郎・山田久恵	北海道大学総合博物館ニュース 第45号	小冊子	2023	北海道大学総合博物館
独立行政法人国立文化機構 東京文化財研究所 研究支援推進部	TOBUNKEN NEWS No. 79, 2022	小冊子	2023	独立行政法人国立文化機構 東京文化財研究所
東京大学史料編纂所附属画像資料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像資料解析センター通信 第99号	小冊子	2023	東京大学史料編纂所
日本工業大学工業技術博物館	工業技術博物館ニュース No.115	小冊子	2023	日本工業大学工業技術博物館
長崎歴史文化博物館	れきぶん NEWS	小冊子	2023	長崎歴史文化博物館
帝京大学総合博物館	ザ・公衆衛生ー社会と個人の健康を守る黒衣たちー	小冊子	2023	帝京大学総合博物館
京都外国語大学国際文化資料館	学園創立75周年記念特別展「古代とは何か」図録	図録	2023	京都外国語大学国際文化資料館
同志社大学歴史資料館	同志社大学歴史資料館 館報 第25号	年報	2023	同志社大学歴史資料館
福岡市美術館	令和3年度 福岡市美術館活動の記録	年報	2023	福岡市美術館



著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
玉川大学教育博物館	西欧宗教画コレクション	図録	2014	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	2021年度特別展示 新収蔵アイコン展	図録	2021	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	静岡ハリストス正教会寄贈 山下りん・日比和の描いたアイコン	図録	2015	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	アイコン/聖像画の世界	図録	2004	玉川大学教育博物館
駒澤大学禅文化歴史博物館	企画展 書でたどる良寛の足跡	図録	2021	駒澤大学禅文化歴史博物館
駒澤大学禅文化歴史博物館	駒澤大学禅文化歴史博物館紀要 第5号(令和2年度)	紀要	2021	駒澤大学禅文化歴史博物館
駒澤大学禅文化歴史博物館	駒澤大学禅文化歴史博物館紀要 第6号(令和3年度)	紀要	2023	駒澤大学禅文化歴史博物館
國學院大學博物館	國學院大學博物館研究報告 第39輯	紀要	2023	國學院大學博物館
日本工業大学	工業技術博物館ニュース No.116	小冊子	2023	日本工業大学
帝国データバンク史料館	帝国データバンク史料館だより Muse 第42号	小冊子	2023	帝国データバンク史料館
立命館大学 文学部 NEWS LETTER 編集委員会	学芸員 NEWS LETTER 第35号	小冊子	2023	立命館大学文学部事務室
東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室	東京都江戸東京博物館紀要 第13号	紀要	2023	東京都江戸東京博物館
東北学院大学博物館	東北学院大学博物館 情報誌 OTAKUみゅーじあむ オタクな展示、お宅にいかが?	小冊子	2023	東北学院大学博物館
東北学院大学博物館	東北学院大学博物館 収蔵資料図録 コレミテ 八巻	図録	2023	東北学院大学博物館
久留米市美術館	久留米市美術館 年報5	年報	2023	久留米市美術館
緒方泉	令和4年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」実施報告書	報告書	2023	九州産業大学美術館
九州産業大学美術館	「2023 九州産業大学国際シンポジウム」原稿集	小冊子	2023	九州産業大学美術館
高槻市街にぎわい部文化財課	令和3年度 高槻市文化財年報	紀要	2023	高槻市街にぎわい部文化財課
同志社大学 良心理学研究センター	同志社精神を考えるために		2023	同志社大学 良心理学研究センター
古都大宰府保存協会	都府楼 第54号	小冊子	2022	古都大宰府保存協会
長崎市長崎学研究所	長崎市長崎学研究所紀要 長崎学 第7号	紀要	2023	長崎市長崎学研究所
九州産業大学美術館	InnovateMUSEUM 事業報告書	報告書	2023	九州産業大学美術館
石橋財団アーティゾン美術館	アニュアル・レポート 2022	報告書	2023	石橋財団アーティゾン美術館
対馬博物館	対馬博物館要覧	小冊子	2023	対馬博物館
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館研究報告 第20号	その他	2023	九州大学総合研究博物館
長崎総合科学大学	長崎総合科学大学地域科学研究所紀要	紀要	2023	長崎総合科学大学
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館ニュース No.39	小冊子	2023	九州大学総合研究博物館
東北大学総合学術博物館	東北大学総合学術博物館ニュースレター No.68	小冊子	2023	東北大学総合学術博物館
福岡市美術館	福岡市美術館研究紀要 第11号	紀要	2023	福岡市美術館

# 博物館規程

## 西南学院大学博物館規程

2005(平成17)年10月5日  
制定

### (趣旨)

第1条 この規程は、西南学院大学学則（1949(昭和24)年4月1日）第5条に基づき、西南学院大学（以下「本学」という。）に設置する博物館に関する必要な事項を定める。

### (名称及び位置)

第2条 名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
西南学院大学博物館(ドージャー記念館)	福岡市早良区西新三丁目13番1号

### (目的)

第3条 西南学院大学博物館（以下「博物館」という。）は、次に掲げる事項を目的とする。

- (1) キリスト教文化、教育文化、地域文化、西南学院史等に関する博物館資料（以下「資料」という。）の収集、整理、保管、閲覧及び展示に関する事項
- (2) 前号の資料の調査研究に関する事項
- (3) 本学学生、教職員等の西南学院関係者並びに一般市民等の教養及び調査研究に資するために必要な事業の実施に関する事項

### (事業)

第4条 博物館は、前条の目的を達成するために次に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、標本、模型、文献、図表、写真、スライド、ビデオ、DVD、CD等の収集、整理、保管、閲覧及び展示
- (2) 資料に関する専門的及び技術的な調査研究の実施
- (3) 本学学生、教職員等の学院関係者及び一般市民等への資料に関する必要な解説、助言、指導等
- (4) 資料に関する講演会、講習会、研究会等の主催及びその開催の援助
- (5) 資料に関する案内書、解説書、目録、年報、調査報告書等の作成及び頒布
- (6) 他の博物館等との刊行物及び情報の交換並びに博物館資料の相互貸借の実施
- (7) 本学学生に対する博物館実習の実施
- (8) その他必要と認められる事業

### (職員)

第5条 博物館に、館長その他必要な職員を置く。

第6条 館長は、館務を統括し、博物館を代表する。

2 館長は、本学の専任教授のうちから、博物館長選考委員会（以下「委員会」という。）の推薦に基づき、部長会議の承認を経て、学長がこれを補する。

3 委員会は、次に掲げる委員4名をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 神学部長
- (3) 人間科学部長
- (4) 国際文化学部長

4 館長の任期は、2年とし、再任を妨げない。

第7条 博物館に、博物館教員として学芸員を置く。

2 前項の他に学芸員資格を有する本学教員及び西南学院大学博物館学外研究員に関する内規（2019(令和元)年12月17日）に定める学外研究員を加えることができる。

3 博物館教員は、資料の収集、整理、保管、閲覧、展示及び調査研究その他これに関する事項について、専門的業務を行う。

4 博物館教員は、学芸員課程及び専門分野の授業を担当することができる。

第8条 博物館に社会連携課博物館事務室（以下「博物館事務室」という。）を置き、事務職員、学芸研究員及び学芸調査員を配置する。

2 事務職員は、博物館運営に係る事項及び庶務の事項を行う。

3 学芸研究員は、博物館教員の専門的業務及び事務職員の業務を補佐する。

4 学芸調査員は、学芸研究員の業務及び事務職員の業務を補佐する。

### (博物館協議会)

第9条 博物館に、館長の諮問に応えるための機関として西南学院大学博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

第10条 協議会に関する事項は、西南学院大学博物館協議会規則（2005(平成17)年10月5日）に定める。

（博物館の管理運営）

第11条 博物館の利用及び管理運営については、西南学院大学博物館管理運営規則（2005(平成17)年10月5日）（以下「管理運営規則」という。）に定める。

（規格外事項の処理）

第12条 この規程に定めのない事項で博物館に関して必要な事項は、協議会の意見を聴いて、館長が定める。

（所管部署）

第13条 この規程に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

（規程の改廃）

第14条 この規程の改廃は、管理運営規則第12条に規定する博物館管理運営委員会及び部長会議の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、2006(平成18)年4月1日から施行する。

2 初代館長の任期は、第6条第3項の規定にかかわらず、2006(平成18)年4月1日から2007(平成19)年6月30日までとする。

附 則

この規程は、2014(平成26)年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2018(平成30)年4月1日から施行する

附 則

この規程は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2020(令和2)年4月1日から施行する。

# 西南学院大学博物館協議会規則

2005(平成17)年10月5日  
制定

## (趣旨)

第1条 この規則は、西南学院大学博物館規程（2005(平成17)年10月5日）第9条に規定する西南学院大学博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

## (所掌事項)

第2条 協議会は、西南学院大学博物館（以下「博物館」という。）の運営に関し、館長の諮問に応えるとともに、博物館の行う博物館資料の収集、整理、保管、閲覧及び展示に関して調査審議し、館長に意見を述べるものとする。  
2 前項の博物館資料の収集については、西南学院大学博物館資料収集検討委員会内規（2016(平成28)年3月9日）に定める。

## (委員)

第3条 協議会は、次に掲げる委員6名をもって構成する。

- (1) 学芸員資格をもつ大学教員1名
- (2) 大学教員1名
- (3) 本部・大学事務職員1名
- (4) 学外の博物館関係者3名

第4条 前条に掲げる協議会の委員は、館長が指名する。

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

## (会長及び副会長)

第6条 協議会に、会長及び副会長各1名を置く。

第7条 会長及び副会長は、委員の互選によるものとし、任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第8条 会長は、会務を総理する。

第9条 副会長は、会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。

## (会議の招集)

第10条 協議会の会議は、必要に応じ、会長が招集する。

- 2 館長が必要と認めたときは、会長に協議会の招集を求めることができる。

## (議決)

第11条 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、成立しない。

- 2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

## (補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

## (所管部署)

第13条 この規則に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

## (規則の改廃)

第14条 この規則の改廃は、協議会の議を経て、部長会議が処理する。この場合において、その実施には、学長の承認を得ることとする。

## 附 則

- 1 この規則は、2006(平成18)年4月1日から施行する。
- 2 初代委員及び同会長、同副会長の任期は、第5条及び第7条の規定にかかわらず、2006(平成18)年4月1日から2007(平成19)年6月30日までとする。

## 附 則

この規則は、2016(平成28)年4月1日から施行する。

## 附 則

この規則は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

## 附 則

この規則は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

## 西南学院大学博物館管理運営規則

2005(平成17)年10月5日  
制定

### (趣旨)

第1条 この規則は、西南学院大学博物館規程(2005(平成17)年10月5日)第11条に基づき、西南学院大学博物館(以下「博物館」という。)の利用及び管理運営について定める。

### (休館日)

第2条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
  - (2) キリスト降誕祭(12月25日)
  - (3) 年末年始の休日(12月28日から1月5日)
- 2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めるときは、臨時に休館又は開館することができる。ただし、この場合は、館長は、その都度あらかじめ日時を公示しなければならない。

### (開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前10時から午後6時までとする。ただし、入館は午後5時30分までとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めるときは、当該時間を変更することができる。

### (入館料)

第4条 入館料は、無料とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、特別展示など館長が必要と認めるときは、有料とすることができる。

### (入館の制限)

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合、入館を禁じ、又は退館を命じることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、展示品、保管物又は施設設備を損傷するおそれがあると認められるとき
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき
- (3) その他管理上支障があると認められるとき

### (資料の閲覧等)

第6条 館長が必要と認めるときは、利用者の依頼により、その調査研究の用に供するために、博物館の所蔵する資料(以下「資料」という。)の閲覧又は複写を許可することができる。

- 2 資料の閲覧又は複写をしようとする者は、あらかじめ資料の閲覧又は複写の申請をしなければならない。

第7条 次に該当する資料は、閲覧又は複写を制限することができる。

- (1) 保存に影響を及ぼすおそれがあると認められるもの
- (2) 現に展示中のもの
- (3) 寄託された資料及び借用した資料で、寄託者又は貸出者の承諾を得ていないもの
- (4) その他館長が不相当と認めたもの

### (資料の貸出し)

第8条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合、資料の館外貸出しを行うことができる。

- (1) 博物館その他これに相当する施設が行う展示の用に供するとき
  - (2) 学校が授業の用に供する場合で、館長が適当と認めるとき
  - (3) その他館長が適当と認めるとき
- 2 資料の館外貸出しを希望する者は、別に定めるところにより、館長の許可を受けなければならない。
  - 3 資料の館外貸出しの許可を受ける者は、資料借用書を館長に提出しなければならない。
  - 4 資料の館外貸出しの許可を受けた者は、館長の指示するところにより、管理にあたらなければならない。
  - 5 資料の館外貸出しの許可を受けた者は、当該資料を他に転貸してはならない。
  - 6 資料の貸出期間は、館長がその都度定める。

### (損害の賠償)

第9条 見学者等の博物館の利用者又は資料の館外貸出しの許可を受けた者が、故意又は過失など自己の責に帰すべき理由により、施設設備、展示資料又は貸出資料を損傷し、又は滅失したときは、館長の指示を受けてこれを原形に復し、又は館長が定める相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。ただし、館長が特にやむを得ない事情があると認めるときは、この限りではない。

### (資料の寄贈)

第10条 博物館は、資料の寄贈を受けることができる。

- 2 博物館に資料を寄贈しようとする者は、別に定めるところにより、館長にその旨を申出るものとする。
- 3 館長が寄贈を受けることを決定した場合は、本人にこの旨を通知するものとする。
- 4 寄贈を受けた資料は、寄贈者の氏名及び寄贈年月日を表記し、永くその篤志を伝える。

### (資料の寄託)

第11条 博物館は、資料の寄託を受けることができる。

- 2 博物館に資料を寄託しようとする者は、別に定めるところにより、館長にその旨を申出るものとする。
- 3 館長が寄託を受けることを決定した場合は、寄託者にこの旨を通知するものとする。
- 4 寄託資料の寄託期間は、その都度館長が寄託者と協議して定める。



- 5 寄託資料は、博物館所蔵の資料と同一の取扱いとする。
- 6 寄託資料は、あらかじめ定められた寄託期間にかかわらず、寄託者の請求又は博物館の都合により、これを返還することがある。
- 7 寄託資料が、天災その他の不可抗力によって損傷又は滅失したとき、博物館は損害賠償の責を負わない。

(博物館管理運営委員会)

第12条 博物館の運営に関する事項を協議する機関として博物館管理運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第13条 委員会は、委員長1名、委員5名をもって構成する。

第14条 委員長は、館長が兼任するものとする。

第15条 委員は、次に掲げる者とする。

- (1) 博物館学芸員課程主任
- (2) 神学部長
- (3) 大学事務長
- (4) 博物館事務室責任者
- (5) 博物館教員

第16条 委員の任期は、各委員の役職在任期間とする。

第17条 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができるものとする。

第18条 委員会は、委員長がこれを招集して、その議長となる。ただし、委員長が欠けたとき又は委員長に事故があるときは、委員の互選によって議長を決定する。

(議決)

第19条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ、成立しない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(補則)

第20条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、館長が別に定める。

(所管部署)

第21条 この規則に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(規則の改廃)

第22条 この規則の改廃は、委員会及び部長会議の議を経て、学長が行う。

附 則

この規則は、2006(平成18)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2014(平成26)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

## 西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂使用内規

2006(平成18)年6月14日  
制定

### (趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館管理運営規則(2005(平成17)年10月5日)第20条の規定に基づき、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂(以下「講堂」という。)の使用に関する事項を定める。

### (目的)

第2条 講堂は、西南学院大学博物館規程(2005(平成17)年10月5日)第3条の目的を達成するための活動の場として供することを目的とする。

### (使用許可要件)

第3条 西南学院大学博物館長(以下「館長」という。)は、次に掲げる事項に該当する場合、講堂の使用を許可する。ただし、本学の建学の精神に反する目的及び内容である場合は、この限りでない。

- (1) 大学が主催する行事(授業及びチャペル・アワーを含む)
- (2) 大学学生団体が主催し、かつ、学生部長が認めた行事
- (3) 大学教職員が主催する行事
- (4) 大学同窓会が主催する行事
- (5) その他、特に館長が許可する行事

### (使用時間)

第4条 講堂の使用時間は、午前10時から午後6時までとする。ただし、館長が必要と認めたときは、この限りでない。

### (休館日)

第5条 次に掲げる休館日は、講堂を使用できないものとする。ただし、館長が必要と認めたときは、この限りでない。

- (1) 日曜日
- (2) キリスト降誕祭(12月25日)
- (3) 年末年始の休日(12月28日から1月5日まで)
- (4) 館長が、建物又は備品の修理その他の理由により必要と認めた日

### (使用願の提出)

第6条 講堂の使用を希望する者又は団体(以下「使用者」という。)は、所定の使用願を社会連携課博物館事務室(以下「事務室」という。)に提出し、館長の許可を受けなければならない。この場合において、使用者が、時間外又は休館日の使用を希望するときも同様とする。

- 2 前項の使用願の申込み期限は、使用予定日の1か月前とする。

### (講堂使用料)

第7条 講堂の使用料は、無料とする。ただし、第3条第3号及び第4号に該当し、かつ、入場料を徴収する行事又は第3条第5号に該当する行事は、有料を原則とする。

- 2 前項ただし書に該当する場合の使用料金及び時間外管理経費は、次に掲げるとおりとする。

使用料金(税込み)	時間外管理経費(税込み)
1時間当たり5,000円	5時間以内 10,000円
	5時間超 20,000円

### (講堂内の禁止行為)

第8条 講堂内においては、次に掲げる行為を禁止する。

- (1) 火気の使用
- (2) 許可なく物品の販売を行うこと
- (3) 許可なく金品の寄付募集を行うこと
- (4) 許可なく展示、掲示及び広告又は宣伝を行うこと
- (5) 飲食及び飲酒
- (6) 喫煙
- (7) 凶器及び危険物等の搬入
- (8) 喧騒にわたる行為
- (9) スパイクシューズ及び下駄ばき
- (10) 許可なく備品(長椅子等)を移動すること

### (臨時設備及び物品の搬入、搬出)

第9条 使用者が、その活動のために臨時設備を施し、又は講堂常備品以外の物品を搬入しようとするときは、あらかじめ館長の許可を受け、係員の指示に従わなければならない。

- 2 臨時設備又は物品の搬出に遅滞があった場合は、館長が適宜に措置を講ずることができるものとする。この場合において、搬出費用は、使用者の負担とする。

### (使用の取消又は中止)

第10条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、その使用許可を取消し又は使用を中止させることができる。

- (1) 建物又は備品等を破壊するおそれがあるとき
- (2) 秩序又は風紀を乱すおそれがあるとき
- (3) 虚偽の申込みが判明したとき
- (4) 事務室の指示に従わなかったとき
- (5) その他管理上支障があると認めるとき

(損害賠償)

第11条 使用者は、建物、付帯設備、備品等を汚損、破壊又は滅失した場合、事務室に届け出て、その損害を賠償しなければならない。

(所管部署)

第12条 この内規に関する事務は、事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第13条 この内規の改廃は、博物館管理運営委員会の議を経て、館長が行う。

附 則

この内規は、2006(平成18)年6月14日から施行する。

附 則

この内規は、2010(平成22)年5月12日から施行する。

附 則

この内規は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

## 西南学院大学博物館(ドージャー記念館)パイプオルガンの管理及び使用に関する内規

2007(平成19)年5月24日  
制定

### (趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)設置のパイプオルガンの管理及び使用を円滑に行うため、必要な事項を定めるものとする。

### (管理)

第2条 パイプオルガンの管理は、学長の委嘱により博物館長及び大学事務長が協議の上、これにあたる。

### (委員会の構成)

第3条 第1条の事項を協議するためパイプオルガン管理運用委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 大学事務長
  - (2) 学院宗教主事(音楽担当)(以下「宗教主事」という。)
  - (3) 博物館教員
  - (4) 学長が委嘱する教員(神学部教員を含む)若干名
  - (5) 総務課長
  - (6) 施設課長
  - (7) キリスト教活動支援課長
  - (8) 博物館事務室責任者(以下「責任者」という。)
- 3 前項第4号に規定する委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

### (委員長)

第4条 委員会には、委員長を置き、大学事務長がこれにあたる。

2 委員長に事故あるときは、前条第2項の委員の互選によりこれを定める。

### (招集及び議事)

第5条 委員長は、必要に応じ委員会を招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

### (使用対象者)

第6条 パイプオルガンの使用は、博物館長が講堂の使用を認めた行事に際し、次に掲げる者に限り認めるものとする。

- (1) 宗教主事
- (2) 宗教主事が推薦する者
- (3) パイプオルガンを使用する授業科目担当者及び受講生
- (4) 学長が特に推薦する者

### (使用時間)

第7条 パイプオルガンの使用時間は、午前10時から午後6時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、博物館長が必要と認めたときは、当該時間を変更することができる。

### (使用手続等)

第8条 パイプオルガンの使用を希望する者は、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂使用内規(2006(平成18)年6月14日)第6条第1項の使用願により許可を得るものとする。

2 パイプオルガン使用の際は、博物館事務室係員の指示に従うものとする。

### (使用者の管理義務)

第9条 パイプオルガンの使用者は、次に掲げる事項について特に注意しなければならない。

- (1) パイプオルガン使用中の鍵の管理
  - (2) 使用後のパイプオルガンの施錠
  - (3) 鍵の返却
- 2 故障又は調整の必要が生じた時は、直ちに宗教主事及び責任者に通知すること。

### (定めのない事項)

第10条 パイプオルガンの管理及び使用について、この内規に定めのない事項については、必要に応じ学長と大学事務長が協議の上、決定する。

### (所管部署)

第11条 この内規に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

### (内規の改廃)

第12条 この内規の改廃は、委員会の議を経て学長が行う。

### 附 則

この内規は、2007(平成19)年5月24日から施行し、2007(平成19)年5月15日から適用する。

附 則  
この内規は、2009(平成21)年7月30日から施行する。

附 則  
この内規は、2014(平成26)年4月1日から施行する。

附 則  
この内規は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則  
この内規は、2019(平成31)年4月1日から施行する。



## 西南学院大学博物館資料収集検討委員会内規

2016(平成28)年3月9日  
制定

(趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館協議会規則(2005(平成17)年10月5日)第2条第2項に基づき、博物館資料の収集に必要な事項を定めるものとする。

(委員会の設置)

第2条 博物館において所蔵する資料の収集を適正かつ円滑に行うため、博物館資料収集検討委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(委員会の構成)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 博物館長(以下「館長」という。)
  - (2) 館長が委嘱する専任教員若干名
  - (3) 博物館教員
  - (4) 大学事務長
- 2 次条第1項第1号の資料を審議する場合は、前項の委員の他に当該資料に関する専門家(以下「専門家」という。)を委員として加えなければならない。
- 3 専門家は、やむを得ず委員会に出席できないときは、必ず当該資料収集に関する意見書を館長に提出しなければならない。
- 4 役職者以外の委員(専門家を除く。)の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、役職上の委員の任期は、その職にある期間とする。

(委員会の開催要件)

第4条 委員会は、次に掲げる場合に開催しなければならない。

- (1) 1資料の価格(税込み)が100万円を超える場合
- (2) 当該年度の資料購入予算限度額を超える場合
- (3) その他、館長が諮問する場合

(委員長)

第5条 委員会に、委員長を置く。

2 委員長は、館長がこれに当たる。館長が欠けたとき又は館長に事故あるときは、委員の互選によって、これを定める。

(招集等)

第6条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、必要に応じて委員以外の者(学外者を含む。)の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(委員会の成立及び議事)

第7条 委員会は、構成員の過半数の出席がなければ成立しない。

2 委員会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(所管部署)

第8条 この内規に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第9条 この内規の改廃は、西南学院大学博物館協議会の議を経て、部長会議が処理する。この場合において、その実施には、学長の承認を得ることとする。

附 則

この内規は、2016(平成28)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

## 西南学院大学博物館学外研究員に関する内規

2019(令和元)年12月17日  
制定

## (趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館規程（2005（平成17）年10月5日）第7条第2項に基づき、西南学院大学博物館（以下「博物館」という。）の学外研究員に関し、必要な事項を定めるものとする。

## (定義)

第2条 学外研究員とは、博物館の事業を推進し、諸活動に寄与することを目的とし、博物館の関係者と協力して資料の収集及び研究に従事する学外者をいう。

2 前項の学外者とは、原則として次に掲げる者をいう。

- (1) 国立、公立及び私立の教育研究機関に所属する、又は所属した教育職員及び研究者
- (2) 博物館資料の調査、収集、整理、保存、公開展示等について専門知識を有する者

## (申込み)

第3条 学外研究員を希望する者は、所定の様式による学外研究員受入申請書を博物館長（以下「館長」という。）に提出しなければならない。

## (受入れ)

第4条 学外研究員の受入れに関しては、館長の承認を得て、博物館管理運営委員会（以下「委員会」という。）に報告するものとする。

## (受入れ期間)

第5条 学外研究員の受入れ期間は、原則として2年とする。ただし、館長が必要と認めるときは、これを更新することができる。

- 2 館長が、博物館における業務遂行に支障があると判断したときは、その職務を解くことができる。

## (待遇)

第6条 学外研究員と博物館の間には、雇用関係は生じないものとする。

## (施設等の使用)

第7条 学外研究員は、本学の教育・研究に支障のない範囲において、大学図書館及び博物館の施設を利用でき、博物館の所蔵資料を調査研究することができる。ただし、研究室は、原則として提供しない。

## (刊行物への執筆)

第8条 学外研究員は、博物館が発行する刊行物に執筆し、その刊行物を受け取ることができる。

## (所管部署)

第9条 この内規に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

## (内規の改廃)

第10条 この内規の改廃は、委員会の議を経て、館長が行う。

## 附 則

この内規は、2020(令和2)年4月1日から施行する。

# 西南学院大学博物館組織

## 大学博物館

館長 片山 隆裕（兼任 本学国際文化学部教授）  
専門：文化人類学・東南アジア研究。  
タイの社会と文化の変容に関する研究。

博物館教員 下園 知弥（専任 助教・学芸員）  
専門：キリスト教の諸教会における思想・美術に関する研究。

## 博物館事務室

事務職員 吉田 進

### 臨時職員

学芸研究員 鬼東 芽依  
迫田ひなの

学芸調査員 山本 恵梨（本学国際文化研究科博士前期課程）  
相江なぎさ（本学国際文化研究科博士前期課程）  
前田 桃花（本学国際文化研究科博士前期課程）  
栗田 りな（本学神学部神学科生）

## 博物館管理運営委員会（西南学院大学博物館管理運営規則第14条～15条）

委員長 片山 隆裕（博物館長）  
委員 尹 芝恵（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授）  
才藤千津子（神学部長 本学神学部教授）  
三苦 正淳（大学事務長）  
吉田 直史（社会連携課長 博物館事務室責任者）  
下園 知弥（博物館教員）

## 博物館協議会（西南学院大学博物館協議会規則第3条）

会長 有馬 学（福岡市博物館館長）  
副会長 島谷 弘幸（九州国立博物館館長）  
委員 尹 芝恵（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授）  
山根 明弘（本学人間科学部社会福祉学科教授）  
三苦 正淳（本学大学事務長）  
佐伯 道彦（福岡県私学協会福岡地区支部長）

（2023年7月現在）



西南学院大学博物館年報 第 15 号  
2022

発行日 2023年7月1日

編集発行 西南学院大学博物館  
〒814-8511 福岡市早良区西新3-13-1  
TEL(092)823-4785 FAX(092)823-4786

印刷 株式会社インテックス福岡  
〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-15-1  
TEL(092)477-7002 FAX(092)477-7003





 西南学院大学